

2022  
豊岡市まちづくりアンケート  
～政策モニタリング調査～

結 果 報 告 書

2022年3月  
豊岡市 政策調整課

# 目 次

I 調査概要 .....	1
II 調査結果 .....	2
1 回答者の属性 .....	2
2 自然と環境について(問 8～問 11) .....	7
3 子育てと教育について(問 12～問 18) .....	13
4 環境と経済について(問 19～問 20) .....	22
5 健康と運動について(問 21～問 25) .....	25
6 公共交通について(問 26～問 29) .....	31
7 食と農業について(問 30～問 31) .....	37
8 地域の歴史、伝統、文化芸術(問 32～問 37) .....	40
9 防災について(問 38～問 44) .....	47
10 まちづくりと観光について(問 45～問 48) .....	55
III 調査票 .....	58

# I 調査概要

## 1 調査の目的

豊岡市は、よりよいまちづくりを行うために、市の重要政策について戦略的政策評価を実施している。戦略的政策評価は、目指す姿を明確にしたうえで、それを実現する手段を段階的かつ論理的に立案し、改善していく手法である。

有効な手段の立案や改善を行うためには、市が保有している行政情報の他に、市民の考え方や行動などの情報も必要となる。本アンケート調査は、市の重要政策に関する市民の考え方や行動などについて、定期的かつ統計的に分析し、客観的な情報を得るために実施しているものである。

## 2 調査の対象等

本アンケートの対象等は、次表に示すとおりである。

対 象	無作為に抽出した4,000人の市内在住者(18歳以上)
方 法	配布:郵送 回答:郵送、Web
調 査 日	2022年1月14日～2月4日(2月14日受付分まで集計)
回 答 数	1,844票(回答率46.1%) ※郵送:1,531票 Web:313票
設 問 数	48問 ※調査票は58頁以降に掲載
実施主体	豊岡市(政策調整部政策調整課行財政改革推進係)

## 3 分析方法

- (1) 集計及び分析は、「無回答」を除いた有効回答を対象に行っている。
- (2) 集計結果は、小数点第2位(又は第3位)を四捨五入しており、表示の比率の合計が100%にならない場合がある。
- (3) 本分析の中では10代と20代を「若年層」、30代～60代を「壮年層」、70代と80代以上を「老年層」としている。
- (4) 統計分析

ア 本調査の分析では、設問に対する最も否定的な回答選択肢から順に、1から5(又は4)までの整数値に数値化し、分析可能にしている。

イ 「はい」と「いいえ」や「有り」と「無し」のような設問についても、数値化して、分析可能にしている。

ウ 数値化した回答値について、2つの集団(例えば男女間や地域間)に差があるかどうか、回答値の増減に関係があるかどうか(調査年ごとに増加しているか等)などを統計検定の手法を用いて調べている。

エ 本調査は、その年の1月に実施しているため、分析にあたっては「〇〇年調査」という呼称を用いている。

## II 調査結果

### 1 回答者の属性

#### (1) 性別(表1及び図1)

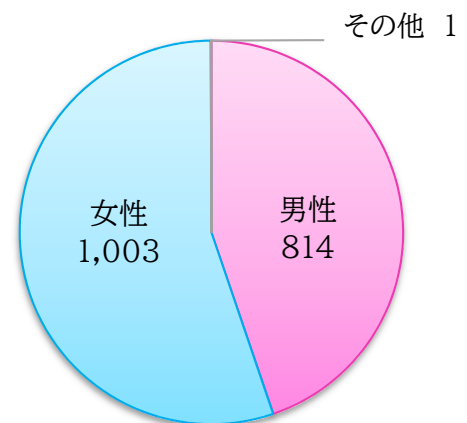
回答者の性別は、男性814人(44.8%)、女性1,003人(55.2%)、その他1人(0.1%)であった。回答者の男女別の割合は、国勢調査と比べて大きな差はない。

<表1:国勢調査との比較> 単位:%

性別	本アンケート	2020国勢調査
男	44.8	48.1
女	55.2	51.9
その他	0.1	—

有効回答者数:1,818人

図1:回答者の性別



#### (2) 年齢(表2及び図2)

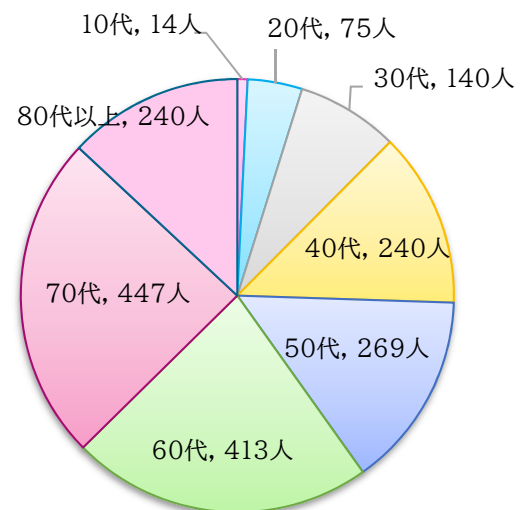
回答者の年齢層は、10代が14人(0.8%)、20代が75人(4.1%)、30代が140人(7.6%)、40代が240人(13.1%)、50代が269人(14.6%)、60代が413人(22.5%)、70代が447人(24.3%)、80代以上が240人(13.1%)である。回答者の年齢層別の割合は、国勢調査と比べて低い年齢層で低く、高い年齢層で高い傾向がみられる。

<表2:国勢調査との比較> 単位:%

年齢層	本アンケート	2020国勢調査
10代	0.8	1.5
20代	4.1	7.7
30代	7.6	11.5
40代	13.1	15.4
50代	14.6	15.2
60代	22.5	17.1
70代	24.3	17.1
80代以上	13.1	14.5

有効回答者数:1,838人

図2:回答者の年齢層別人数



### (3) 職業(表3)

回答者の職業は、「無職(年金暮らし含む)」が最も多く(32.7%)、「会社員、会社役員」(23.1%)、「パート、アルバイト」(14.6%)の順である。

<表3:回答者の職業>

職業	回答者数(人)	割合(%)
会社員、会社役員	421	23.1
自営業(農業含む)	183	10.1
公務員	121	6.7
パート、アルバイト	265	14.6
専業主婦	147	8.1
学生	24	1.3
NGO、NPO	9	0.5
無職(年金暮らし含む)	594	32.7
その他	55	3.0
合計	1,819	100.0

### (4) 居住地域(表4)

回答者が住んでいる地域は豊岡地域(54.5%)が最も多い。回答者の地域別の割合は、国勢調査と比べて大きな差はない。

<表4:回答者の居住地域>

居住地域	本アンケート		2020国勢調査(%)
	回答者数(人)	割合(%)	
豊岡	990	54.5	53.4
城崎	50	2.8	4.2
竹野	113	6.2	5.6
日高	359	19.7	19.8
出石	198	10.9	11.9
但東	108	5.9	5.1
合計	1,818	100.0	100.0

(5) 年齢層別の家族構成(表5)

回答者の家族構成を年齢層別にみると、70～80代以上の回答者の1割以上がひとり暮らし世帯、60～80代以上の回答者の3割以上が夫婦のみの世帯である。

<表5:回答者の年齢層別の家族構成>

年代		ひとり暮らし	夫婦のみ	夫婦と未成年の子ども	ひとり親と未成年の子ども	二世帯	三世帯	その他	合計
10代	人数(人)	1	0	3	1	3	6	0	14
	割合(%)	7.1	0.0	21.4	7.1	21.4	42.9	0.0	100.0
20代	人数(人)	13	4	5	0	28	20	4	74
	割合(%)	17.6	5.4	6.8	0.0	37.8	27.0	5.4	100.0
30代	人数(人)	4	14	58	4	29	24	7	140
	割合(%)	2.9	10.0	41.4	2.9	20.7	17.1	5.0	100.0
40代	人数(人)	13	22	98	5	57	35	7	237
	割合(%)	5.5	9.3	41.4	2.1	24.1	14.8	3.0	100.0
50代	人数(人)	24	61	34	4	87	35	21	266
	割合(%)	9.0	22.9	12.8	1.5	32.7	13.2	7.9	100.0
60代	人数(人)	34	166	5	0	141	38	29	413
	割合(%)	8.2	40.2	1.2	0.0	34.1	9.2	7.0	100.0
70代	人数(人)	51	212	3	2	96	61	21	446
	割合(%)	11.4	47.5	0.7	0.4	21.5	13.7	4.7	100.0
80代 以上	人数(人)	45	71	2	1	69	35	12	235
	割合(%)	19.1	30.2	0.9	0.4	29.4	14.9	5.1	100.0

(6) 地域別の住居形態(表6)

回答者の多く(86.7%)が持ち家の一戸建てに住んでいる。

賃貸の集合住宅に住んでいる割合が高い地域は、豊岡地域(12.9%)、日高地域(5.3%)及び出石地域(4.7%)である。

<表6:回答者の地域別の住居形態>

地域		持ち家		賃貸		社宅・寮・シェアハウス等	その他	合計
		一戸建て	集合住宅	一戸建て	集合住宅			
豊岡	人数(人)	839	3	29	95	12	10	988
	割合(%)	80.6	0.5	2.8	12.9	1.7	1.5	100.0
城崎	人数(人)	46	1	0	0	2	1	50
	割合(%)	93.7	0.0	1.4	1.4	2.1	1.4	100.0
竹野	人数(人)	108	0	3	0	1	1	113
	割合(%)	95.2	0.0	1.9	1.0	1.9	0.0	100.0
日高	人数(人)	335	2	3	17	0	2	359
	割合(%)	91.8	0.5	1.9	5.3	0.0	0.5	100.0
出石	人数(人)	179	2	2	13	0	2	198
	割合(%)	89.7	0.9	1.9	4.7	0.9	1.9	100.0
但東	人数(人)	103	0	3	1	0	1	108
	割合(%)	99.1	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	100.0
合計	人数(人)	1610	8	40	126	15	17	1816
	割合(%)	86.7	0.5	2.2	8.2	1.3	1.2	100.0

(7) 地域別の回答者家族の子どもの有無(表7)

同居家族に高校生以下の子どもがいる回答者は、地域別にみると豊岡地域が最も多い(248人)。

<表7:地域別の回答者家族の子どもの有無>

(単位:人)

地域	子ども有	子ども有		
		小学生以下	中学生	高校生
豊岡	248	164	80	77
城崎	13	5	5	8
竹野	14	8	8	5
日高	104	63	33	38
出石	51	34	17	17
但東	25	15	7	9
計	455	289	150	154



## 2 自然と環境について(問 8～問 11)

### (1) 問8『あなたは、豊岡の自然の中で暮らすことに価値があると感じていますか』

これまでの調査における回答平均値は、表8のとおりである。

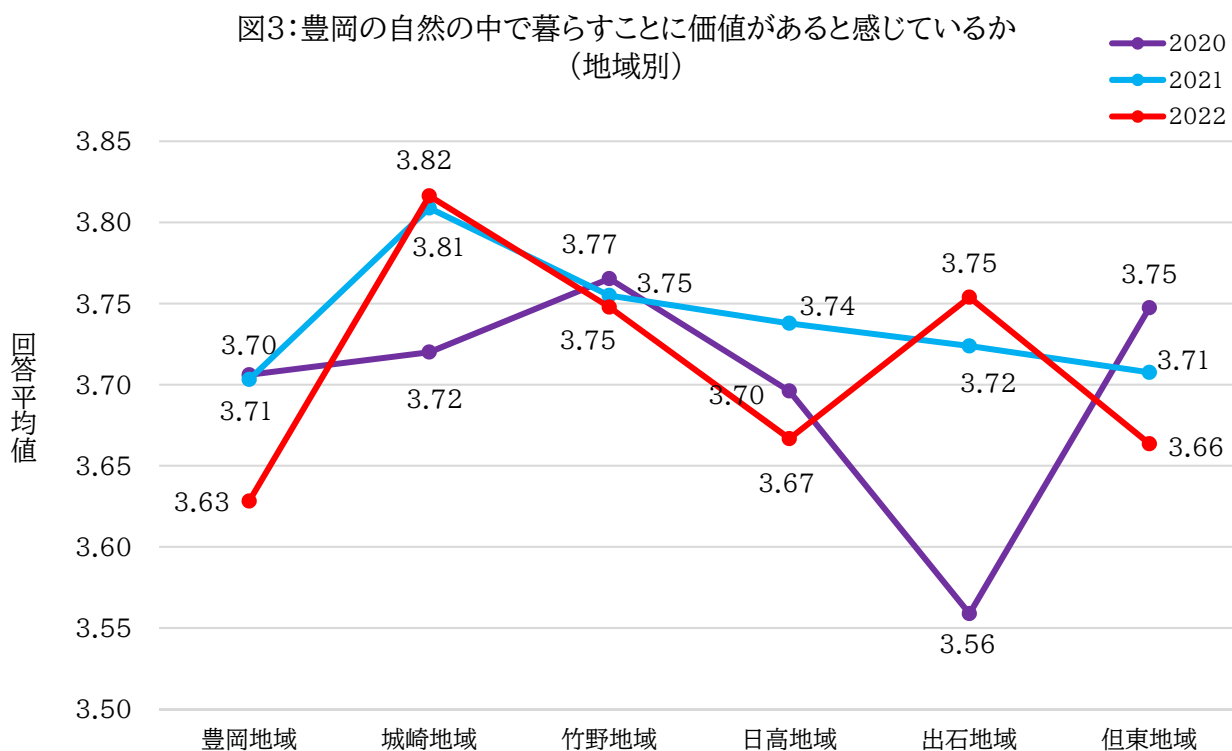
調査年の間で統計的に有意な差はない。

<表8:調査年ごとの回答平均値>

2020年調査	3.69
2021年調査	3.72
2022年調査	3.66

各地域の回答平均値は、図3のとおりである。

2022年調査において、城崎地域と他の地域との間に統計的に有意な差がある。城崎地域は他の地域に比べ、豊岡の自然の中で暮らすことに価値があると感じていると言える。



男女別の回答平均値は、表9のとおりである。

男女間で統計的に有意な差がある。女性は男性に比べ、豊岡の自然の中で暮らすことに価値があると感じていると言える。

<表9:男女別の回答平均値>

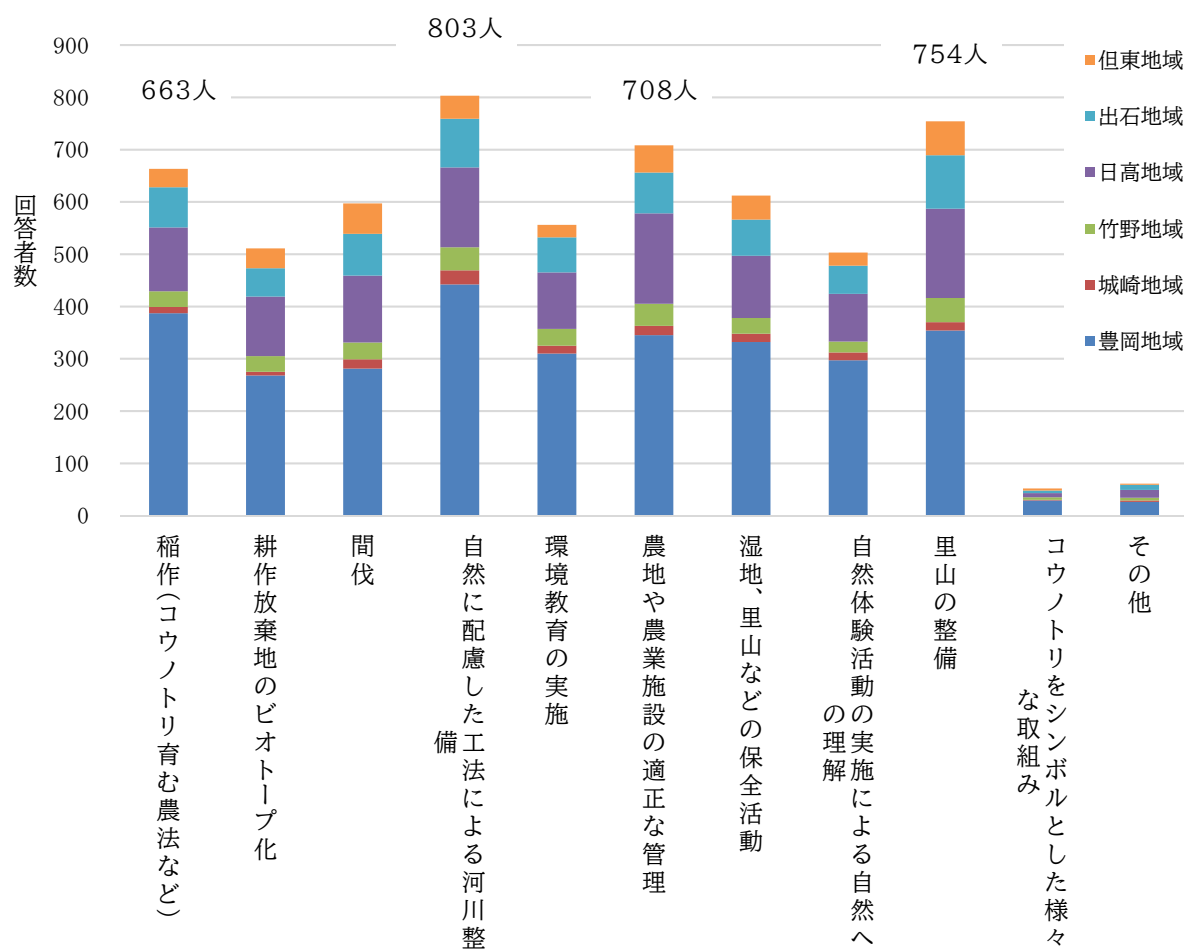
調査年	性別	
	男性	女性
2019	3.62	3.73
2020	3.62	3.75
2021	3.63	3.79

(2) 問9『あなたは、生物多様性保全のためにどのような取り組みが重要だと思いますか』

地域別の結果は、図4のとおりである。

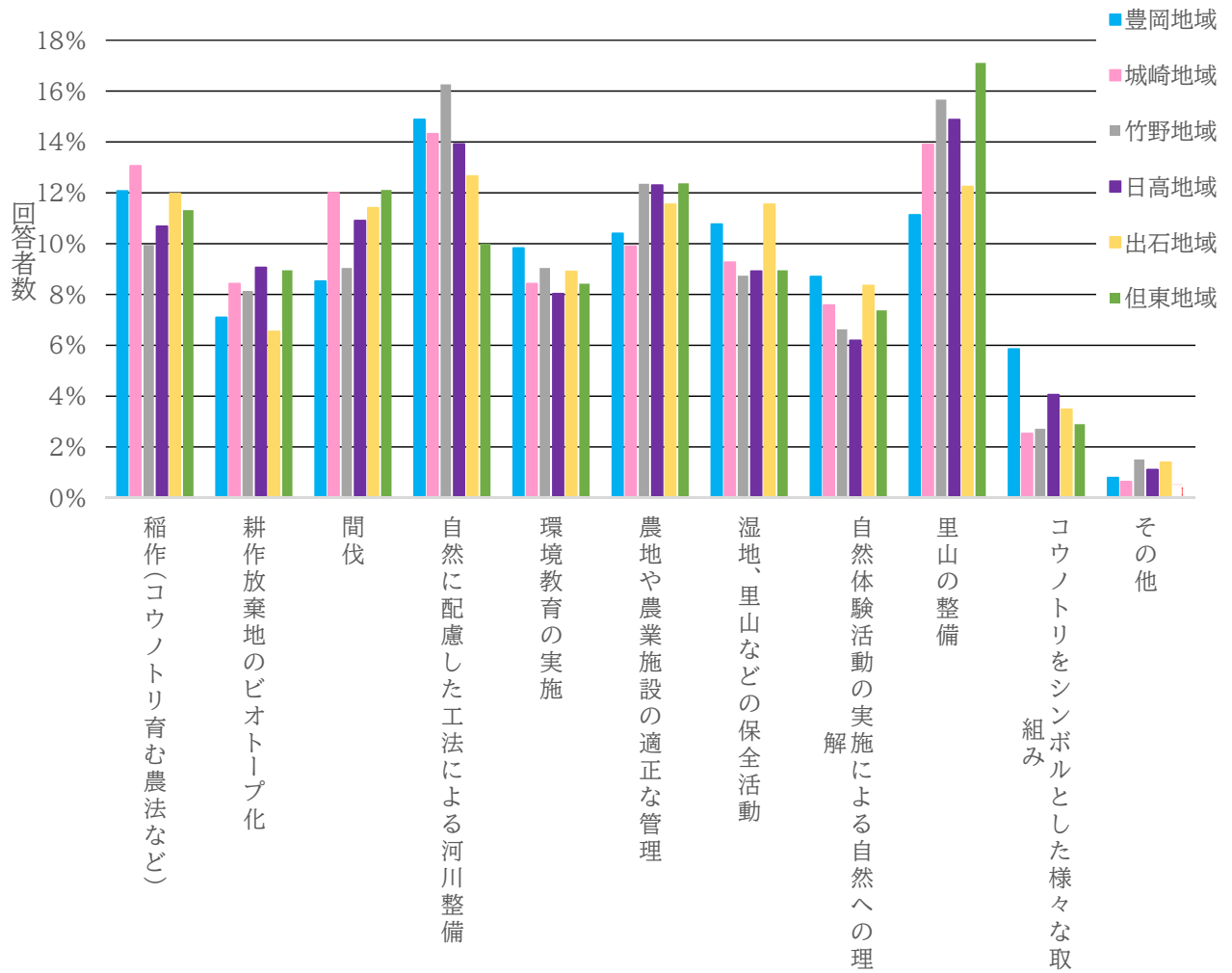
回答者数が多い取り組みは、「自然に配慮した工法による河川整備」(803人)、「里山の整備」(754人)、「農地や農業施設の適正な管理」(708人)、「稲作(コウノトリ育む農法など)」(663人)などである。

図4:生物多様性保全のために重要と思う取り組み(回答者数)



回答項目ごとの回答者数が地域別の回答者総数に占める割合は、図5のとおりである。「自然に配慮した工法による河川整備」、「里山の整備」の項目で地域差がみられる。この差は、これまでの調査と同様であることから、生物多様性に対する河川や山の重要度は、地域間で差があると推測できる。それぞれの地域において河川や山が占める割合との関係があることが予想できる。

図5:生物多様性保全のために重要と思う取組み(地域別回答者数割合)

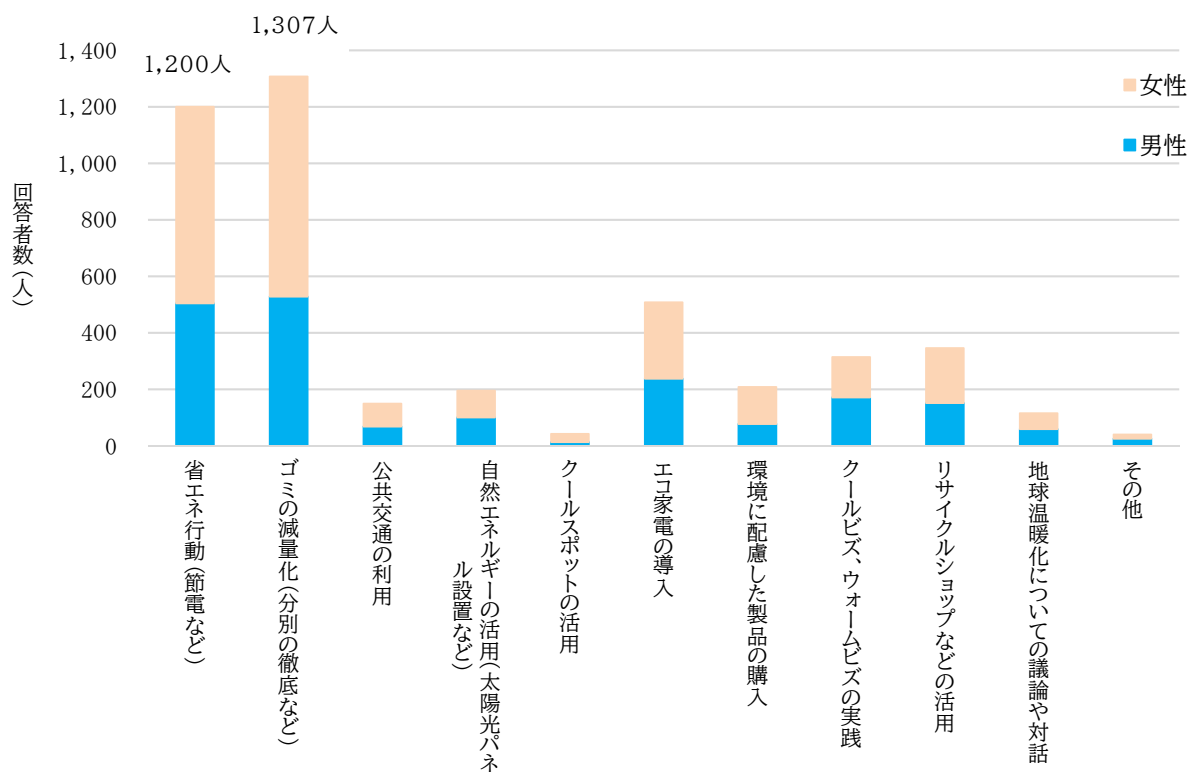


### (3) 問10『あなたは、地球温暖化対策として、普段どのようなことを実践していますか』

2022年調査の結果は、図6のとおりである。

回答の多い取組みは、「ゴミの減量化(分別の徹底など)」(1,307人)、「省エネ行動(節電など)」(1,200人)である。

図6:地球温暖化対策として実践していること



男女間で差がある取組みは、次のとおりである。

<男性が女性よりも多い取組み>

- ・クールビズ、ウォームビズの実践

<女性が男性よりも多い取組み>

- ・省エネ行動(節電など)
- ・ゴミの減量化(分別の徹底など)
- ・環境に配慮した製品の購入(オーガニック、有機JASなど)

「その他」の回答として挙げられたものは、これまでの調査と同様、「マイバッグ(エコバッグ)持参」や「自転車や徒歩での移動」などである。2022年調査では「EV車に替える」という回答が挙げられた。

(4) 問11『あなたは、森林資源(木質バイオマス)や自然エネルギー(太陽光、風力、水力)などの「持続可能な地域資源」が有効に利用されていると思いますか』

これまでの調査における回答平均値は、表10のとおりである。

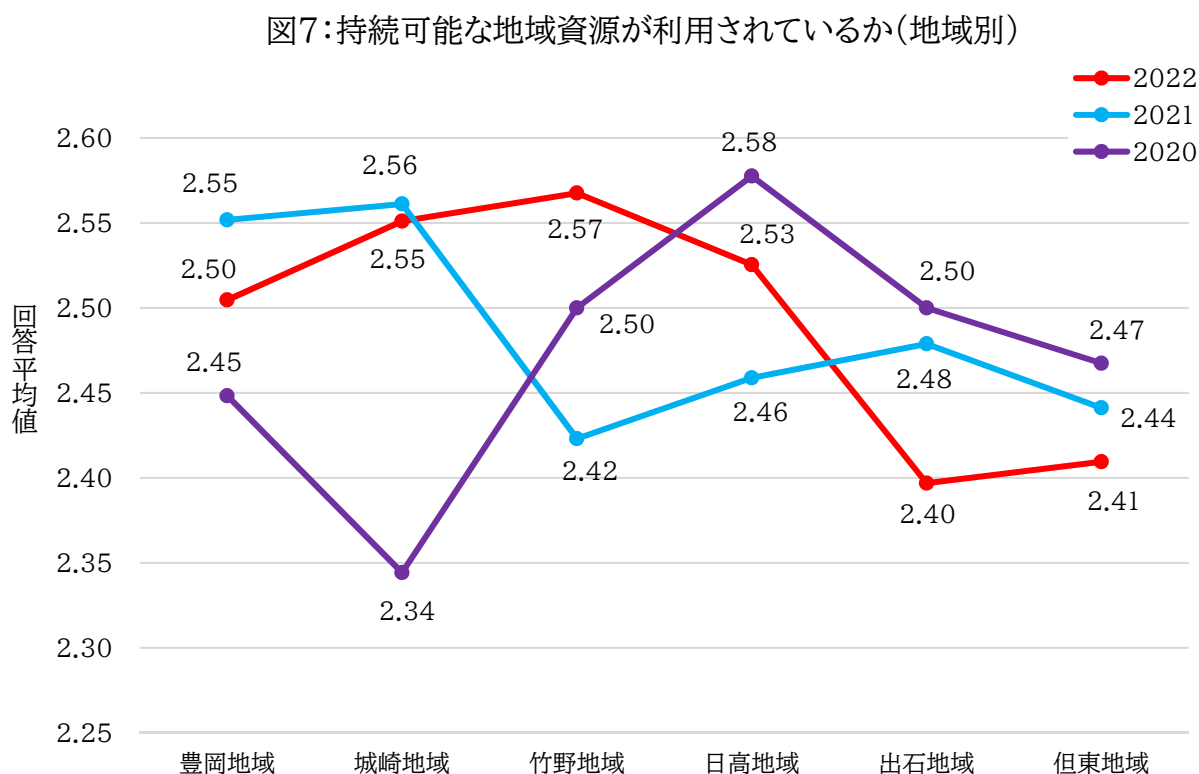
調査年の間で統計的に有意な差はない。

<表10:調査年ごとの回答平均値>

2020年調査	2.48
2021年調査	2.51
2022年調査	2.50

各地域の回答平均値は、図7のとおりである。

2022年調査においては、地域間で統計的に有意な差はない。



男女別の回答者数及び回答者に占める割合は、表11のとおりである。

男女とも「あまりそう思わない」の回答者数が最も多い。

<表11:問11に対する男女別の回答内訳>

		まったくそう 思わない	あまりそう 思わない	どちらとも 言えない	ある程度そ う思う	とてもそう 思う	合計
男性	人数(人)	103	384	186	119	10	802
	割合(%)	12.8	47.9	23.2	14.8	1.2	100.0
女性	人数(人)	67	436	348	119	6	975
	割合(%)	9.6	46.1	30.1	13.3	0.9	100.0

年代別の回答者数及び回答者に占める割合は、表12のとおりである。

「あまりそう思わない」の回答は、60代と70代が5割を超えている。

<表12:問11に対する年代別の回答>

		まったくそう 思わない	あまりそう 思わない	どちらとも 言えない	ある程度そ う思う	とてもそう 思う	合計
10代	人数(人)	1	5	5	2	1	14
	割合(%)	7.1	35.7	35.7	14.3	7.1	100.0
20代	人数(人)	6	26	33	8	0	73
	割合(%)	8.2	35.6	45.2	11.0	0.0	100.0
30代	人数(人)	17	54	52	17	0	140
	割合(%)	12.1	38.6	37.1	12.1	0.0	100.0
40代	人数(人)	22	91	92	31	2	238
	割合(%)	9.2	38.2	38.7	13.0	0.8	100.0
50代	人数(人)	23	119	94	26	5	267
	割合(%)	8.6	44.6	35.2	9.7	1.9	100.0
60代	人数(人)	32	223	101	50	2	408
	割合(%)	7.8	54.7	24.8	12.3	0.5	100.0
70代	人数(人)	37	222	109	59	3	430
	割合(%)	8.6	51.6	25.3	13.7	0.7	100.0
80代以 上	人数(人)	34	89	51	49	3	226
	割合(%)	15.0	39.4	22.6	21.7	1.3	100.0

### 3 子育てと教育について(問 12～問 18)

#### (1) 問12『あなたは、豊岡市で子育てをする人は安心して子育てができていると思いますか』

これまでの調査における回答平均は、表13のとおりである。

2021年調査と2022年調査との間には統計的に有意な差があり、肯定的な回答が減少している。

<表13:調査年ごとの回答平均値>

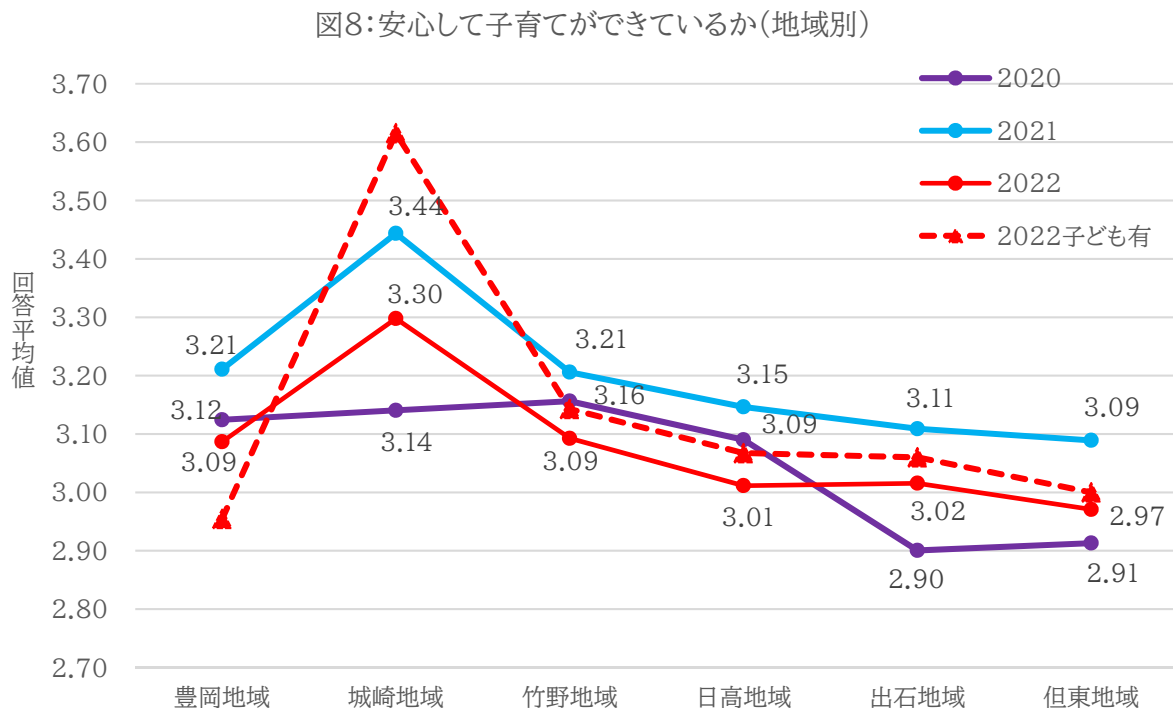
2020年調査	3.08
2021年調査	3.20
2022年調査	3.06

地域別の回答平均値は、図8のとおりである。

2022年調査において、城崎地域は他の地域に比べ統計的に有意な差があり、安心して子育てができていると思われる。

子ども有の世帯と子ども無の世帯の間では統計的に有意な差はない。

男女間でも、統計的に有意な差はない。



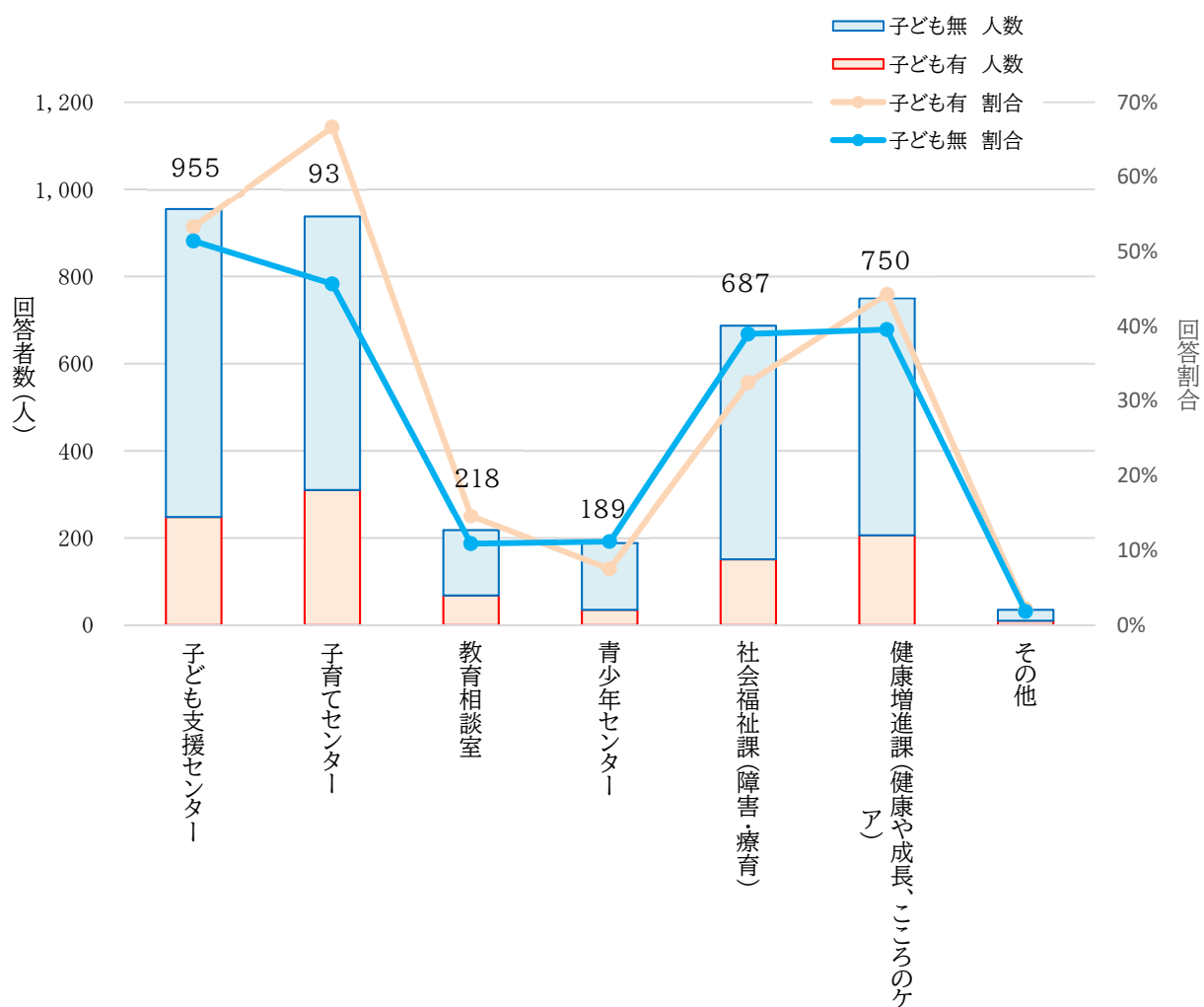
(2) 問13『子育てに関する悩みや不安を相談できる窓口として、あなたが知っているものはどれですか』

2022年調査において、回答人数と回答人数に占める割合は、図9のとおりである。

「教育相談室」(218人)及び「青少年センター」(189人)を知っている回答者は他に比べて少ない。

子ども有の世帯と子ども無の世帯との間で、「子育てセンター」を知っている回答者数に統計的に有意な差がある。「子育てセンター」の認知度については子ども有の世帯が高い。

図9:知っている子育て相談窓口





(3) 問14『豊岡市の現状は、子育てと仕事の両立がしやすくなっていると思いますか』

これまでの調査における回答平均は、表14のとおりである。

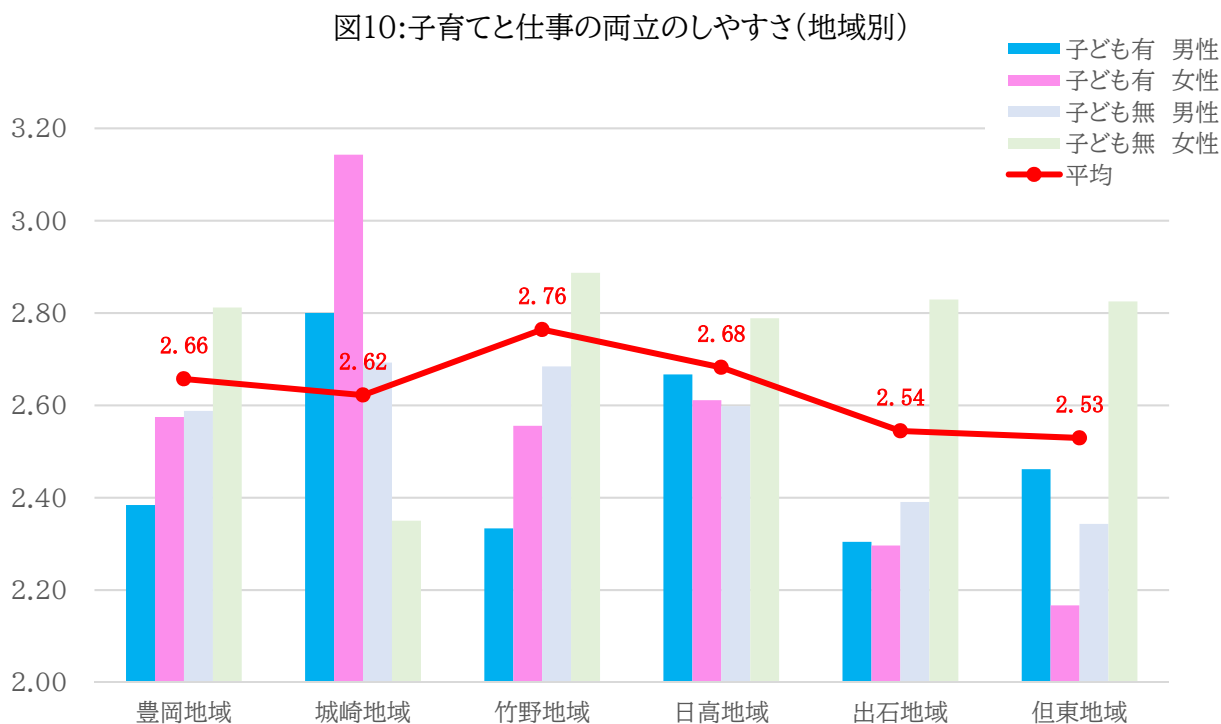
2021年調査と2022年調査の回答平均値との間には統計的に有意な差があり、2022年調査では2021年調査に比べ、肯定的な回答が少ない。

<表14:調査年ごとの回答平均値>

2020年調査	2.69
2021年調査	2.79
2022年調査	2.65

地域別の結果は、図10のとおりである。

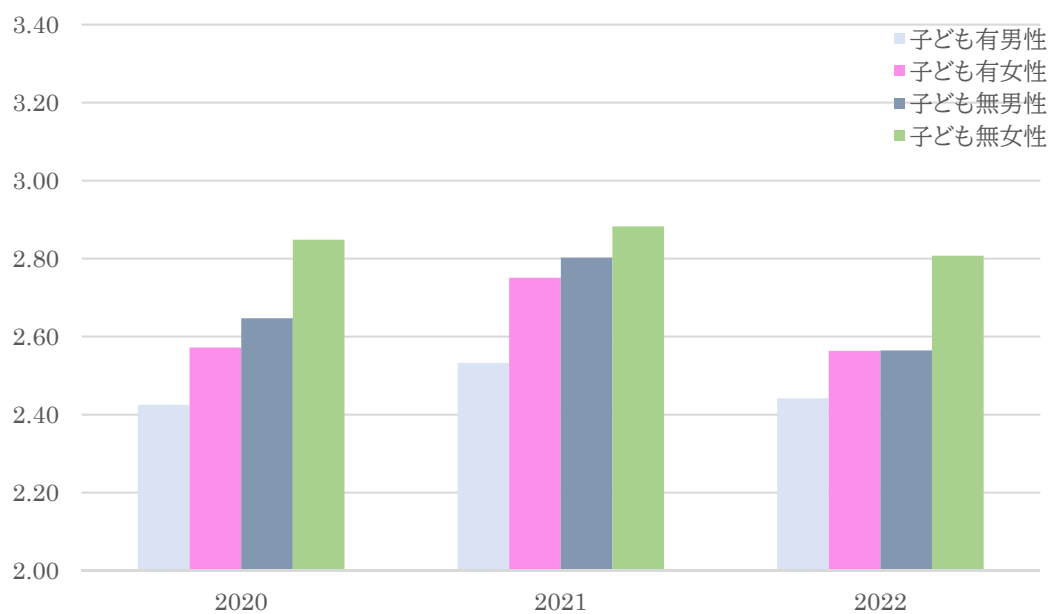
2022年調査においては、地域間で統計的に有意な差はない。



属性別の回答平均値は、図11のとおりである。

子ども有の世帯と子ども無の世帯の双方で、男女間で統計的に有意な差がある。

図11:子育てと仕事の両立のしやすさ(子ども有無・男女別)

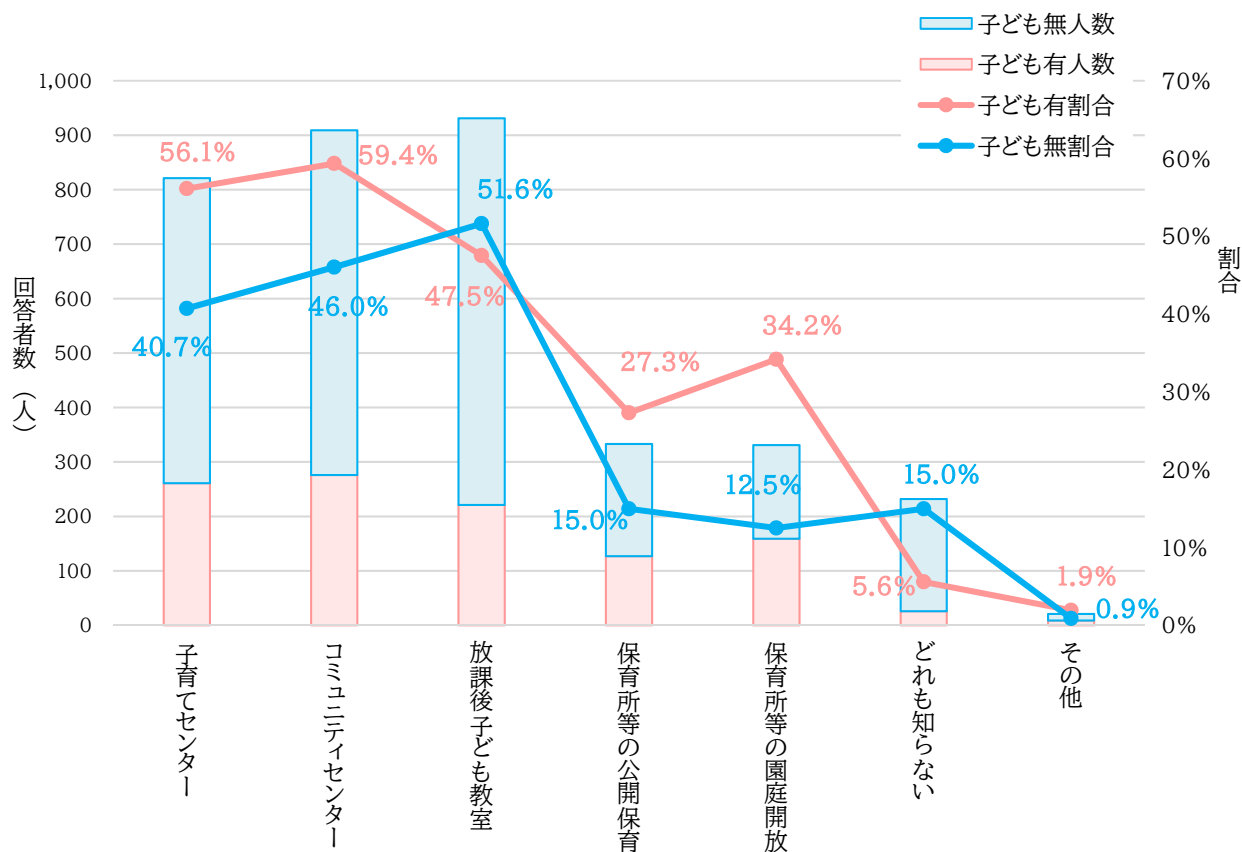


(4) 問15『子ども達が集まって交流できる場所のうち、あなたが知っているものはどれですか』

2022年調査について、回答人数と回答人数に占める割合は、図12のとおりである。

「放課後子ども教室」以外の項目において、子ども有の世帯は子ども無の世帯に比べ、子どもが集まる場所を知っている割合が高い。

図12:知っている子どもが集まる場所



(5) 問16『あなたのまわりの子どもたち(小学生・中学生)は、まわりの大人たちとのあいさつや会話が出来ますか』

これまでの調査における回答平均は、表15のとおりである。

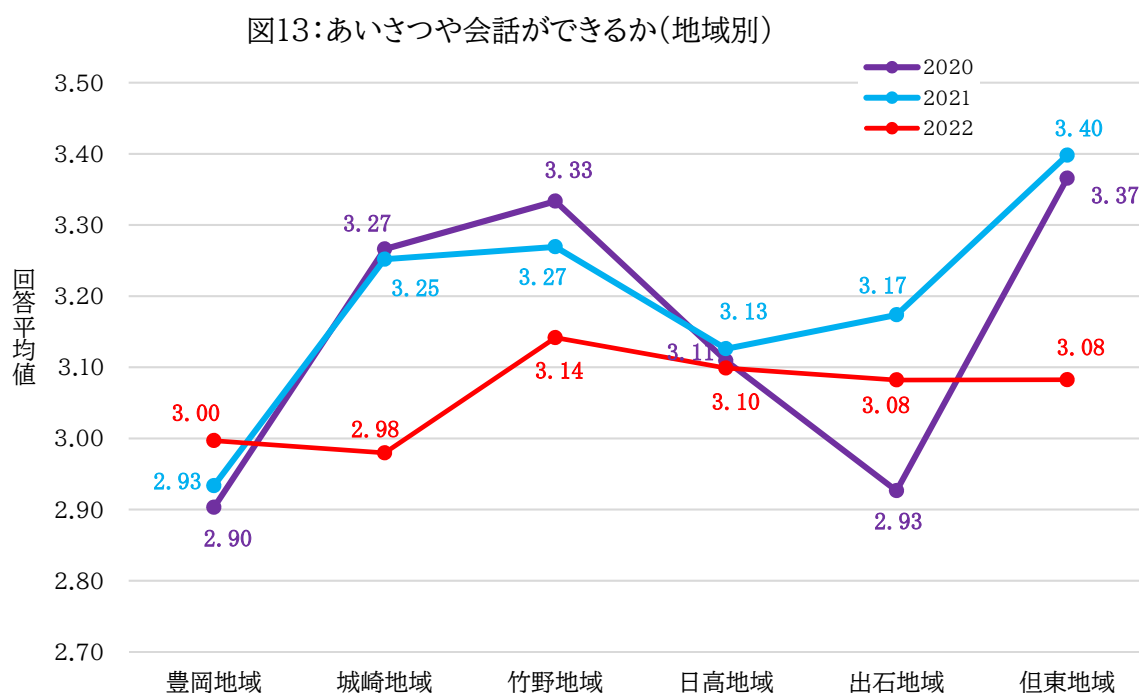
2021年調査と2022年調査の回答平均値との間には、統計的に有意な差はない。

<表15:調査年ごとの回答平均値>

2020年調査	3.03
2021年調査	3.07
2022年調査	3.04

地域別の結果は、図13のとおりである。

2022年調査においては、地域間で統計的に有意な差はない。



(6) 問17『あなたの地域では、お祭りなどの伝統行事に子どもたち(小学生・中学生)はどのくらい参加していますか』

これまでの調査における回答平均は、表16のとおりである。

2021年調査と2022年調査の回答平均値との間には、統計的に有意な差はない。

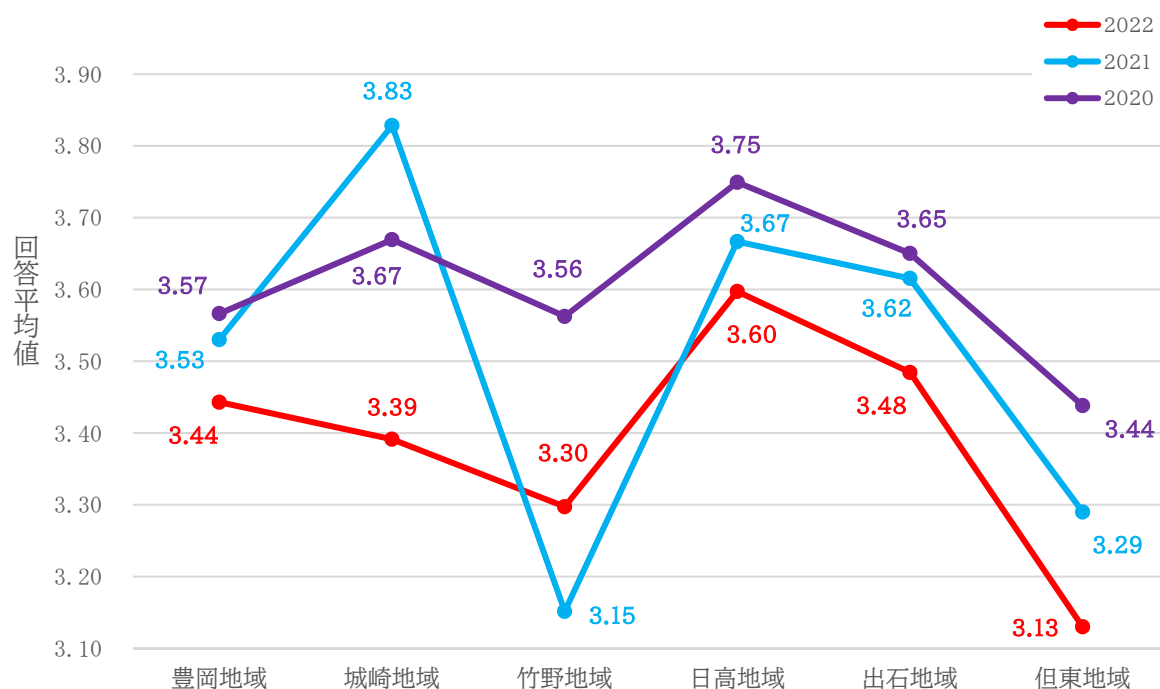
<表16:調査年ごとの回答平均値>

2020年調査	3.62
2021年調査	3.55
2022年調査	3.45

地域別の結果は、図14のとおりである。

2022年調査において、但東地域と他の地域との間で統計的に有意な差がある。但東地域は他の地域に比べ、子どもたちの伝統行事への参加が少ないと感じていると言える。

図14:子どもたちは伝統行事へ参加しているか(地域別)

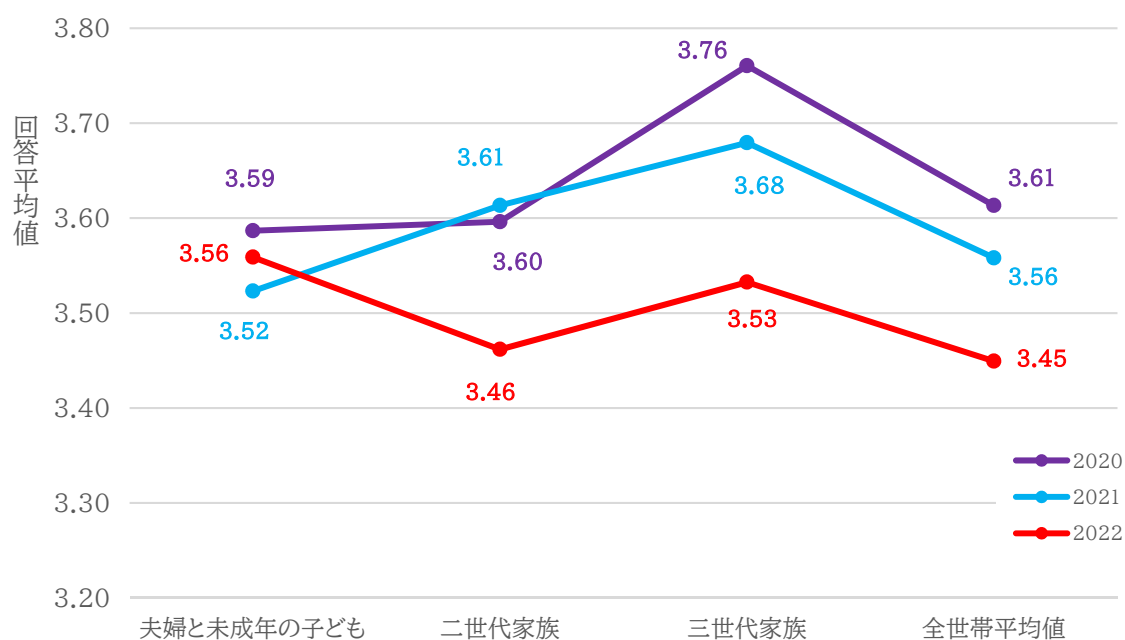


2022年調査における家族構成別は、図15のとおりである。

これまでの調査から「三世代家族」と「二世世代家族」との間には統計的に有意な差があることが分かっており、子どもが世帯内にいる「三世代家族」は、「二世世代家族」に比べ子どもたちが伝統行事に参加していると言える。

全世帯平均値について、2020年調査と2022年調査との間には統計的に有意な差がある。2022年調査では2020年調査に比べ、否定的な回答が増加していると言える。

図15: 子どもたちは伝統行事へ参加しているか(家族構成別)



(7) 問18『あなたのまわりの子どもたちは、豊岡に愛着を感じていると思いますか』

これまでの調査における回答平均は、表17のとおりである。

2021年調査と2022年調査の回答平均値(全体及び子ども有世帯)との間には、統計的に有意な差はない。

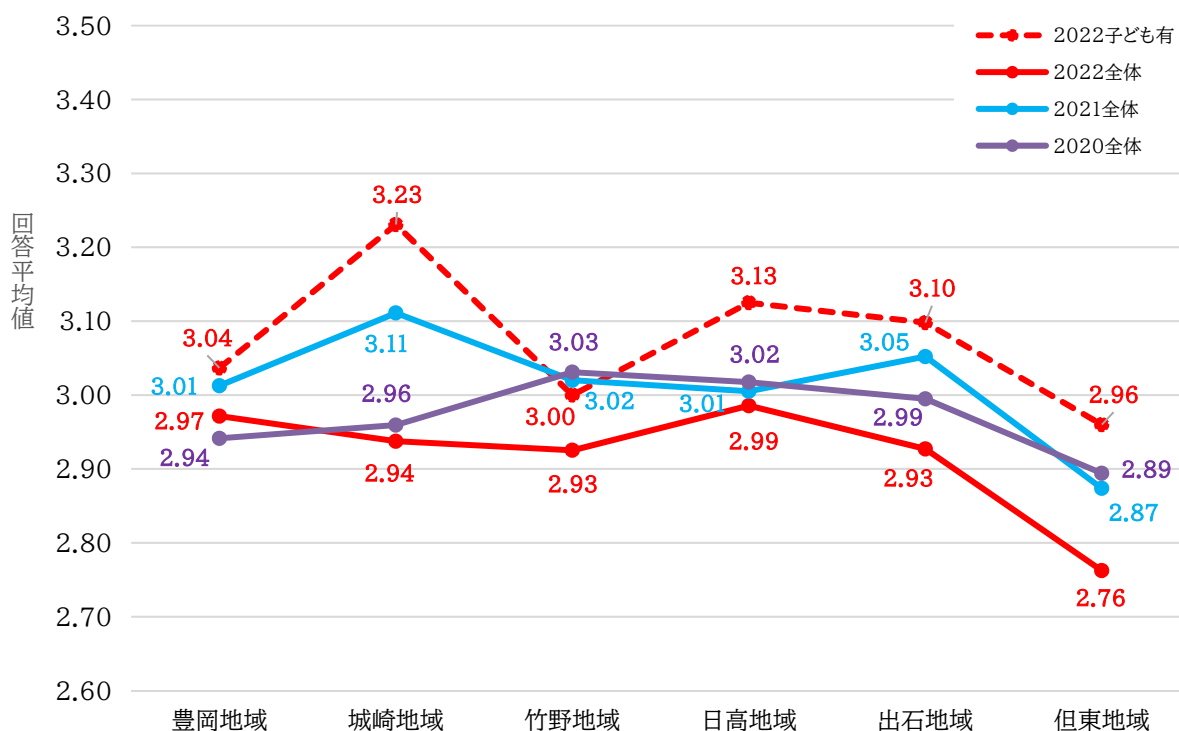
<表17:調査年ごとの回答平均値>

	全体	子ども有世帯
2020年調査	2.97	3.00
2021年調査	3.02	3.09
2022年調査	2.95	3.07

地域別の結果は、図16のとおりである。

2022年調査において、但東地域と他の地域との間で統計的に有意な差がある。但東地域は他の地域に比べ、子どもたちが豊岡に愛着を感じていると思う人が少ないと言える。

図16:子どもたちは豊岡に愛着を感じていると思うか(地域別)



#### 4 環境と経済について(問 19～問 20)

##### (1) 問19『日常生活で環境に配慮した商品を意識して購入していますか』

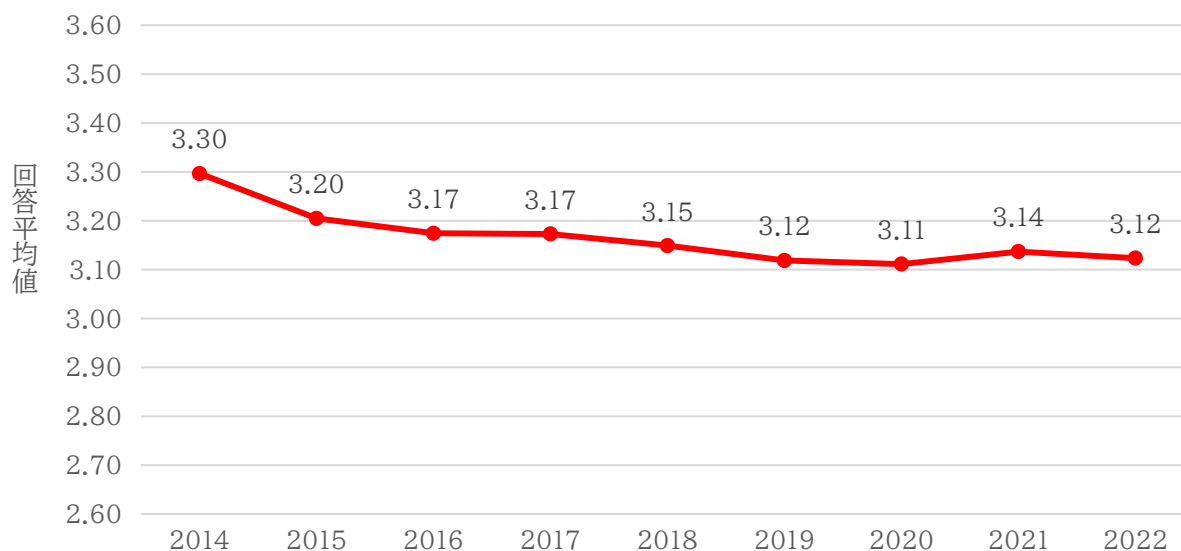
これまでの調査における回答平均値は、図17のとおりである。

調査年と回答値には負の相関がある。

この回答平均値の微減は、戦略の成果が下がったことを意味するが、それ以外に解釈することも可能である。例えば、SDGsブームなどの影響である。この影響によって、市民の環境意識が高くなり、自然(無意識的)に環境に配慮するようになり、そのため、「意識」して環境に配慮した行動を行っていると思わなくなり、回答平均値が低下したと解釈することもできる。

回答平均値の微減を市民の行動の客観的な「悪化」と解釈することに対しては、留意が必要であると思われる。

図17:環境に配慮した商品購入(調査年別)

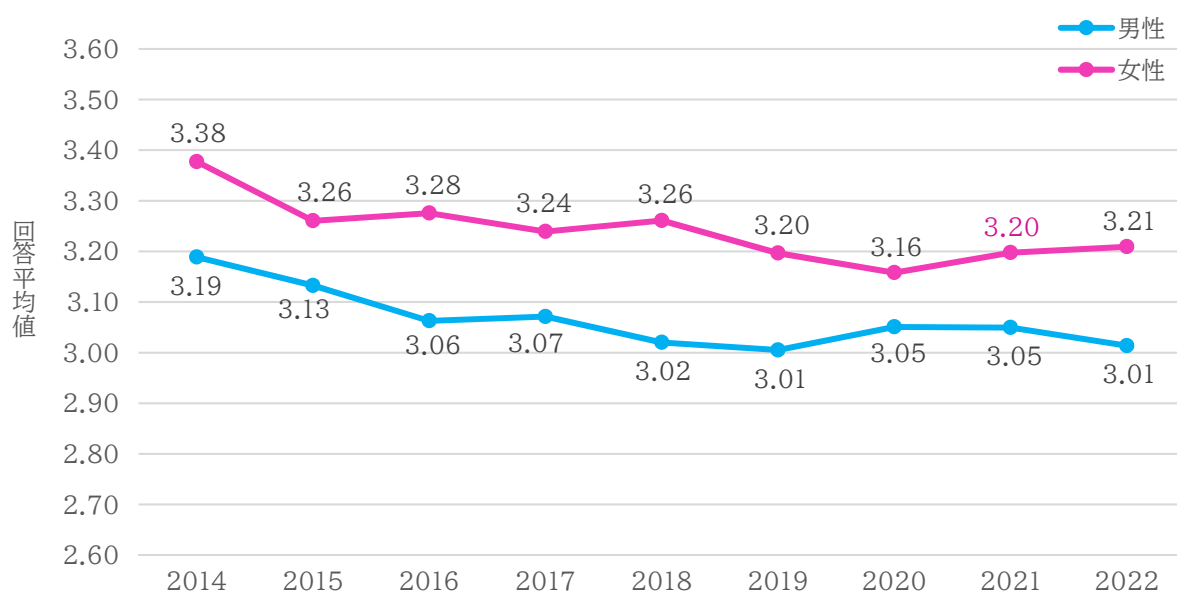


男女別の回答平均値は、図18のとおりである。

継続して男女間で統計的に有意な差がある。女性は男性に比べ、日常生活で環境に配慮した商品を意識して購入していると言える。



図18:環境に配慮した商品購入(調査年別・性別)

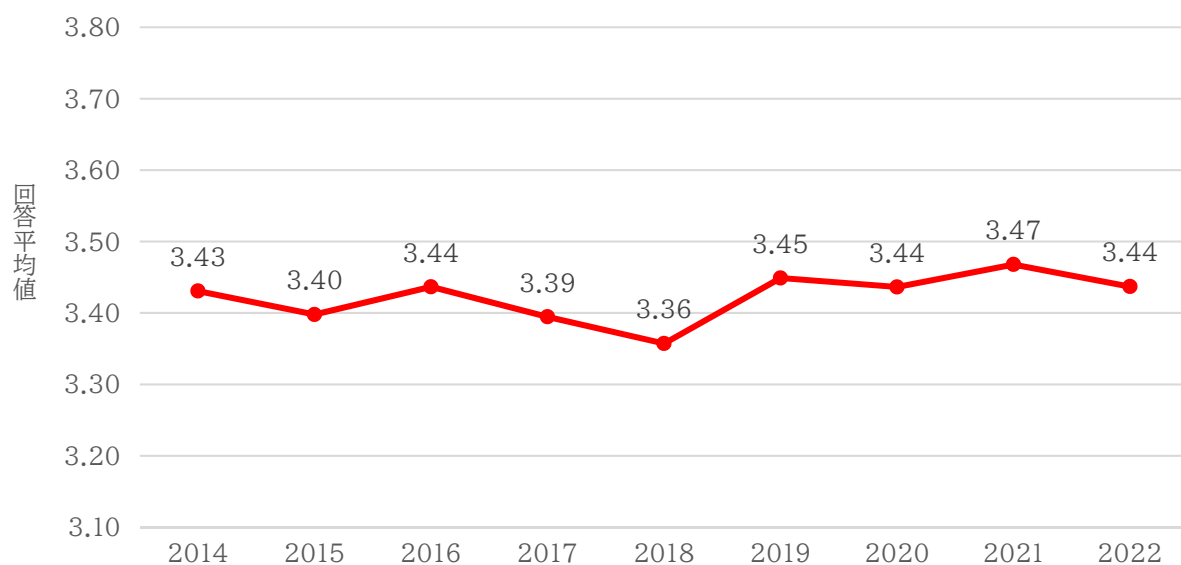


(2) 問20『豊岡市の市民や事業者の皆さまによる環境を良くする取組みが、豊岡市の経済にもプラスになるとお考えですか』

これまでの調査における回答平均値は、図19のとおりである。

経年変化について、傾向は見られない。

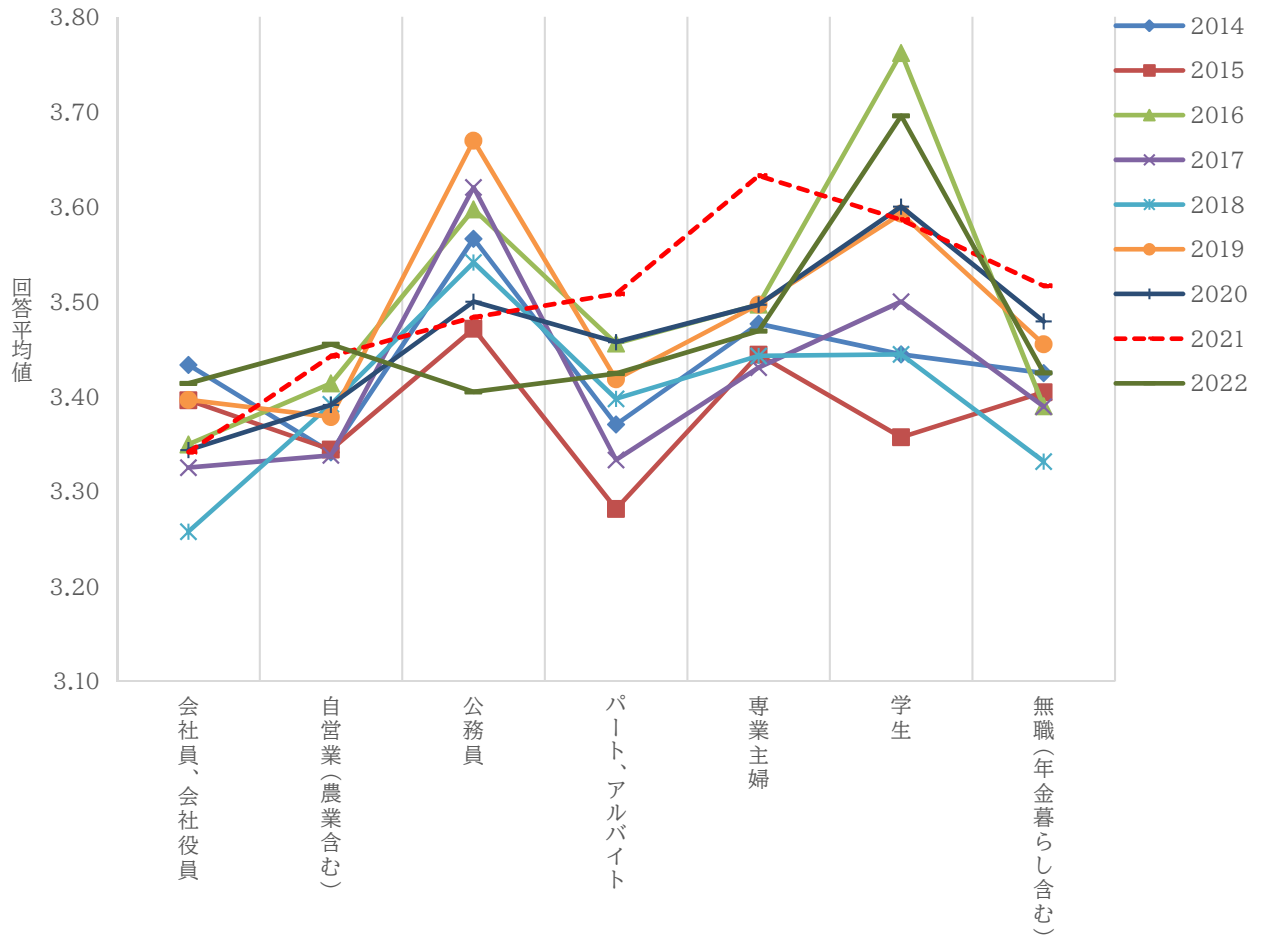
図19:環境をよくする取組みが豊岡市の経済にプラスになる(調査年別)



職業別の結果は、図20のとおりである。ただし、回答者数の少ない「NPO・NGO」、「その他」を除外している。

これまでの調査を通じて「公務員」と「学生」の回答平均値が高い傾向がみられる。

図20：環境を良くする取組みは経済にもプラスになるか(経年・職業別)



## 5 健康と運動について(問 21～問 25)

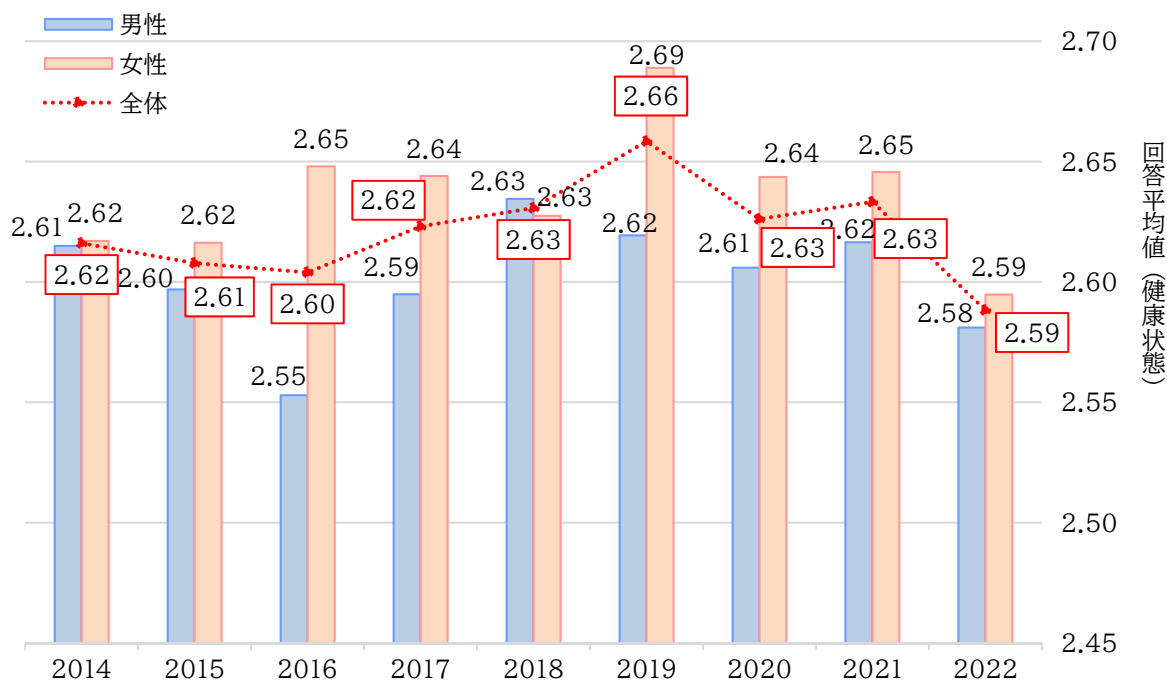
### (1) 問21『あなたは現在、自分が健康だと思いますか』

これまでの調査における回答者全体、男性及び女性の回答平均値は、図21のとおりである。

全体、男性及び女性の回答平均値について、統計的に有意な差はない。

2022年調査についても、男女間では統計的に有意な差はない。

図21:自分が健康だと思いますか(年度別・男女別)



(2) 問22『あなたは健康維持・増進のために運動(1日30分以上)をしていますか』

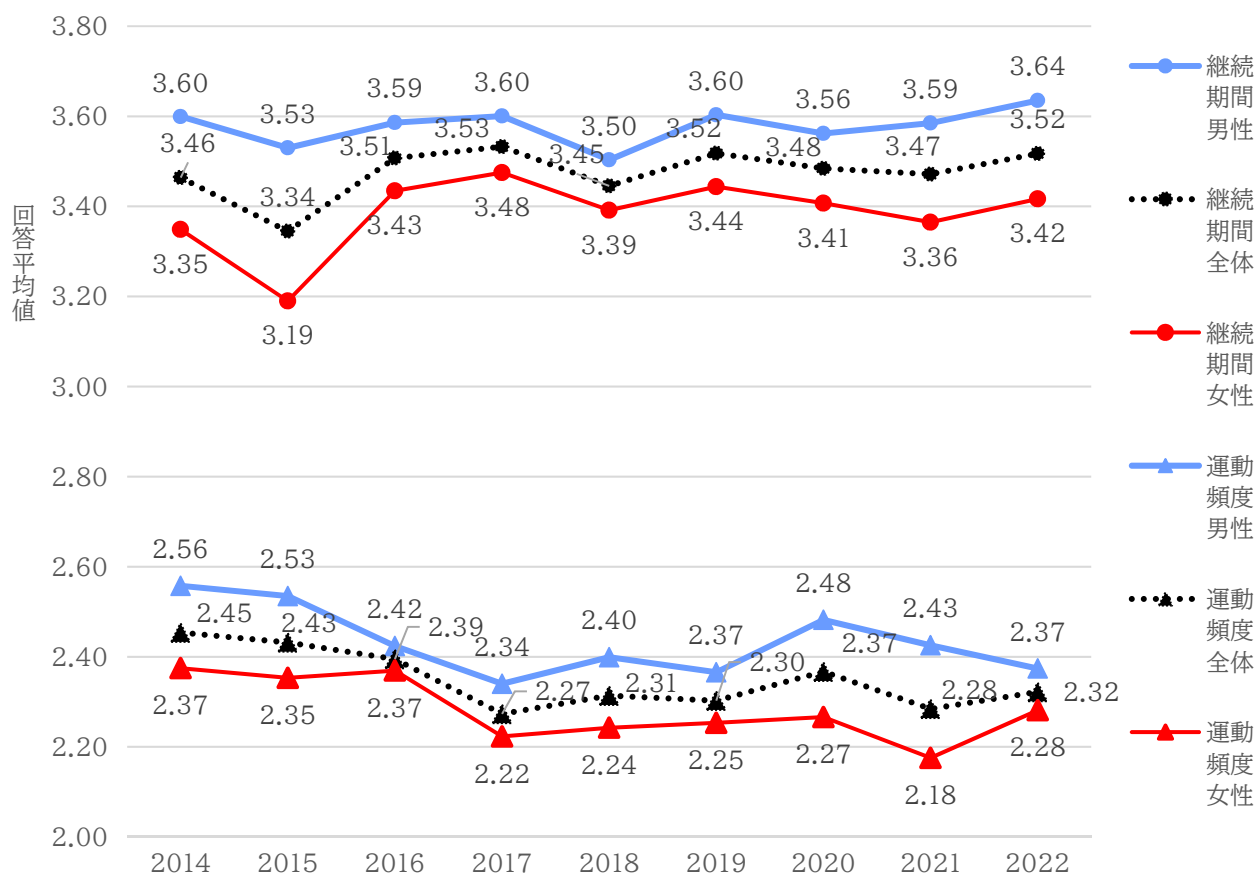
問23『その運動はどのくらい継続されていますか』

これまでの調査における回答平均値は、図22のとおりである。

男性、女性及び全体の回答平均値について、2022年調査と2021年調査の間に統計的に有意な差はない。

これまでの調査から、問22と問23に相関関係があり、運動頻度が高い人ほど運動を継続している期間が長いことが分かっている。男女間では継続期間に統計的に有意な差があることが分かっている。

図22:回答平均値の経年変化



問22のこれまでの調査における、男性及び女性の回答割合は、表18のとおりである。

2016年までは「ほぼ毎日」の選択肢の多くが15%を超えているが、2017年以降は「週に1日以下」の選択肢の多くが15%を超えている。男性については、2018年以降「週に1日以下」の回答者が多い傾向がみられる。

<表18:問22に対するこれまでの調査年の毎回答者に占める割合(男女別)>

		していない	週に1日以下	週に2日	週に3日以上	ほぼ毎日
2014	男性	42.4%	12.1%	11.9%	14.6%	19.0%
	女性	47.5%	11.7%	12.0%	13.5%	15.3%
2015	男性	42.9%	12.3%	12.3%	13.4%	19.1%
	女性	46.2%	14.2%	12.1%	13.0%	14.5%
2016	男性	45.4%	13.7%	11.4%	12.2%	17.3%
	女性	46.3%	13.9%	11.8%	12.4%	15.6%
2017	男性	44.9%	15.4%	13.6%	13.1%	13.1%
	女性	48.9%	14.9%	12.3%	12.9%	11.0%
2018	男性	43.3%	16.1%	12.8%	12.8%	14.9%
	女性	48.2%	15.6%	11.2%	13.6%	11.3%
2019	男性	45.0%	15.5%	11.5%	14.1%	14.0%
	女性	47.2%	15.8%	12.8%	12.5%	11.6%
2020	男性	41.4%	16.8%	11.1%	13.6%	17.1%
	女性	47.6%	14.2%	14.1%	11.8%	12.2%
2021	男性	42.3%	15.7%	13.1%	14.8%	14.1%
	女性	51.1%	14.5%	11.2%	12.1%	11.1%
2022	男性	43.8%	16.1%	12.2%	14.8%	13.1%
	女性	46.7%	14.6%	13.6%	14.1%	11.0%

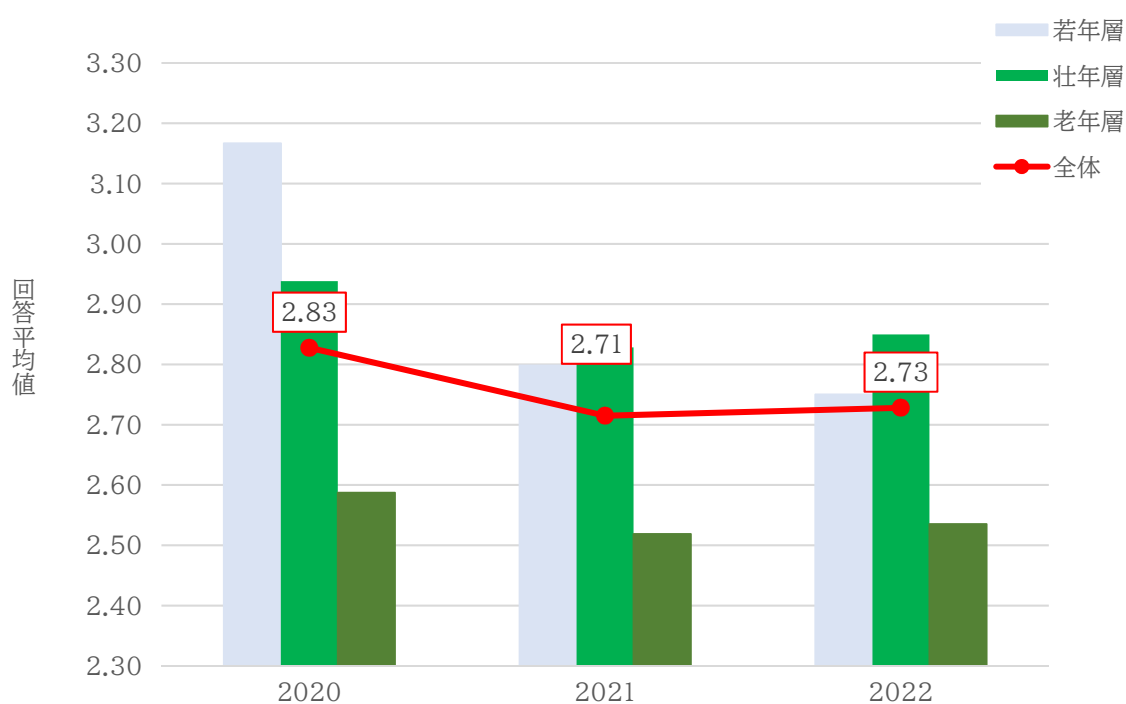
(3) 問24『あなたは1年前と比べて、「歩くこと」など体を動かす健康づくりをする回数に変化はありますか』

これまでの調査における年齢層別の回答平均値は、図23のとおりである。

全体の回答平均値について、2021年調査と2022年調査との間に統計的に有意な差はない。年齢層別でも、2021年調査と2022年調査との間に統計的に有意な差はない。

健康づくりの機会の減少は、大きな外部環境の変化(コロナ禍による「巣ごもり」)による影響の可能性がある。

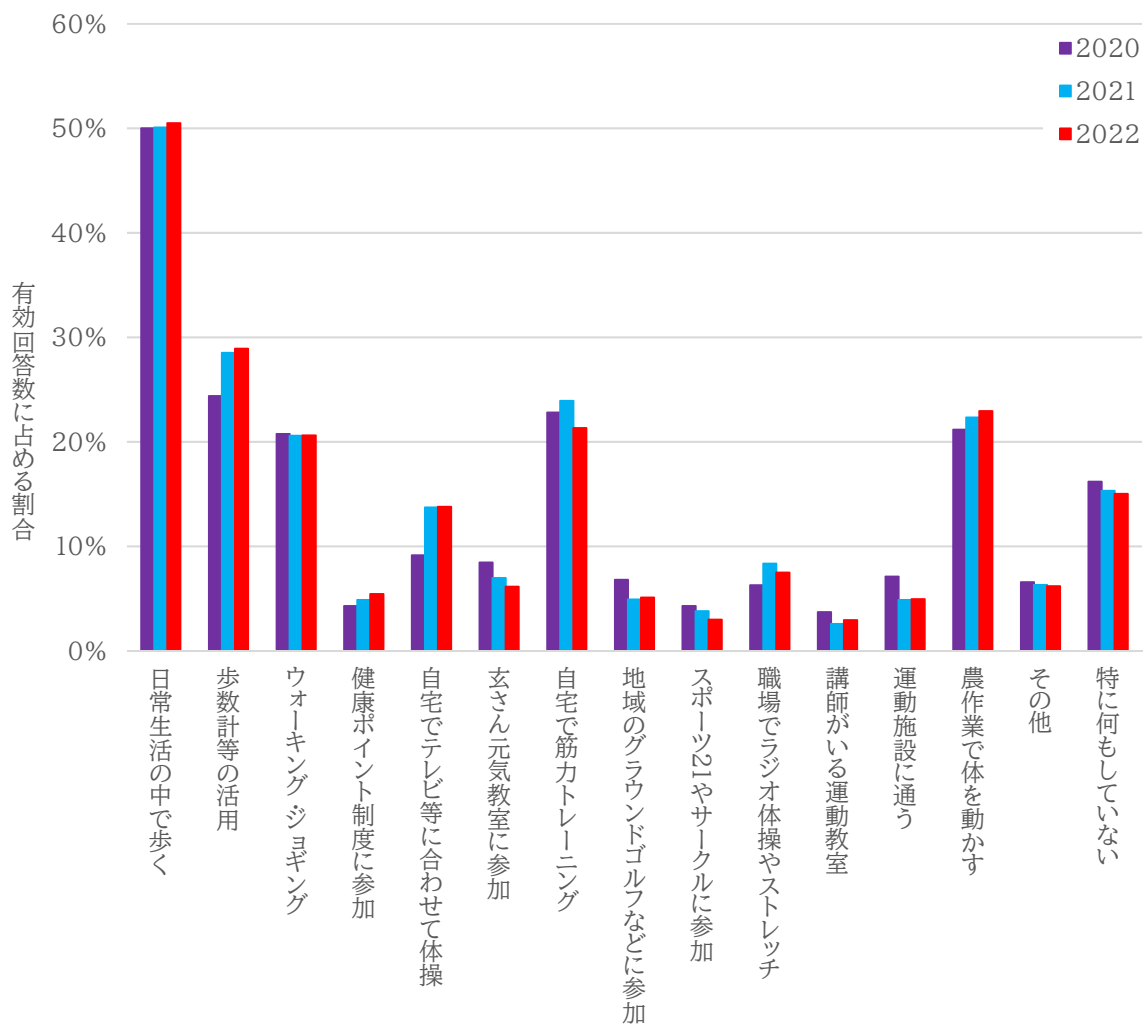
図23:健康づくりの機会(年齢別・年齢層別)



(4) 問25『あなたは体を動かす健康づくりとして、どのようなことを実践していますか』

これまでの調査における、有効回答者に占める回答数の割合は、図24のとおりである。  
「歩数計等の活用」及び「自宅でテレビ等に合わせて体操」の割合が増加している。

図24:実践している健康づくり



2022年調査の結果について、下記のことが分かった。

ア 男性が女性に比べ、多く選択している項目

- ・「歩数計等を活用し、自分の歩数を把握する」
- ・「ウォーキングやジョギングをする」

イ 女性が男性に比べ、多く選択している項目

- ・「自宅でテレビやDVDに合わせて体操する」
- ・「講師がいる運動教室に参加する」

2022年調査における、地域別の選択数及び回答者に占める割合は、表19のとおりである。

地域によって20%を超える選択肢に差がみられる。

<表19:地域別の選択者数及び回答者に占める割合>

地域及び 人数等 選択肢	豊岡地域		城崎地域		竹野地域		日高地域		出石地域		但東地域	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
日常生活の中で歩く	493	49.8	27	54.0	63	55.8	183	51.0	107	54.0	48	44.4
歩数計等を活用し自 分の歩数を把握	277	28.0	18	36.0	28	24.8	106	29.5	60	30.3	34	31.5
ウォーキングやジョギ ング	198	20.0	14	28.0	22	19.5	71	19.8	46	23.2	21	19.4
健康ポイント制度に 参加	36	3.6	6	12.0	7	6.2	27	7.5	14	7.1	5	4.6
自宅でテレビやDVD に合わせて体操	146	14.7	6	12.0	19	16.8	37	10.3	25	12.6	18	16.7
玄さん元気教室に参 加	42	4.2	4	8.0	10	8.8	25	7.0	22	11.1	9	8.3
自宅での筋力トレー ニング	236	23.8	9	18.0	14	12.4	67	18.7	42	21.2	16	14.8
地域のグラウンドゴル フなどに参加	41	4.1	6	12.0	3	2.7	22	6.1	15	7.6	5	4.6
スポーツ21やサーク ルに参加	32	3.2	1	2.0	1	0.9	9	2.5	8	4.0	1	0.9
職場でのラジオ体操 やストレッチ	72	7.3	2	4.0	6	5.3	35	9.7	18	9.1	4	3.7
講師がいる運動教室 に参加	31	3.1	3	6.0	4	3.5	10	2.8	4	2.0	2	1.9
運動施設に通う	57	5.8	4	8.0	3	2.7	17	4.7	9	4.5	1	0.9
農作業で体を動かし ている	162	16.4	13	26.0	45	39.8	105	29.2	50	25.3	43	39.8
その他	63	6.4	3	6.0	5	4.4	15	4.2	15	7.6	10	9.3
特に何もしていない	148	14.9	8	16.0	13	11.5	60	16.7	24	12.1	21	19.4



## 6 公共交通について(問 26～問 29)

### (1) 問26『あなたは外出の際、移動手段について不便に感じることがありますか』

これまでの調査における回答平均は、表20のとおりである。

2021年調査と2022年調査の回答平均値との間には、統計的に有意な差がある。2022年調査では、2021年調査に比べ否定的な回答が増えていると言える。

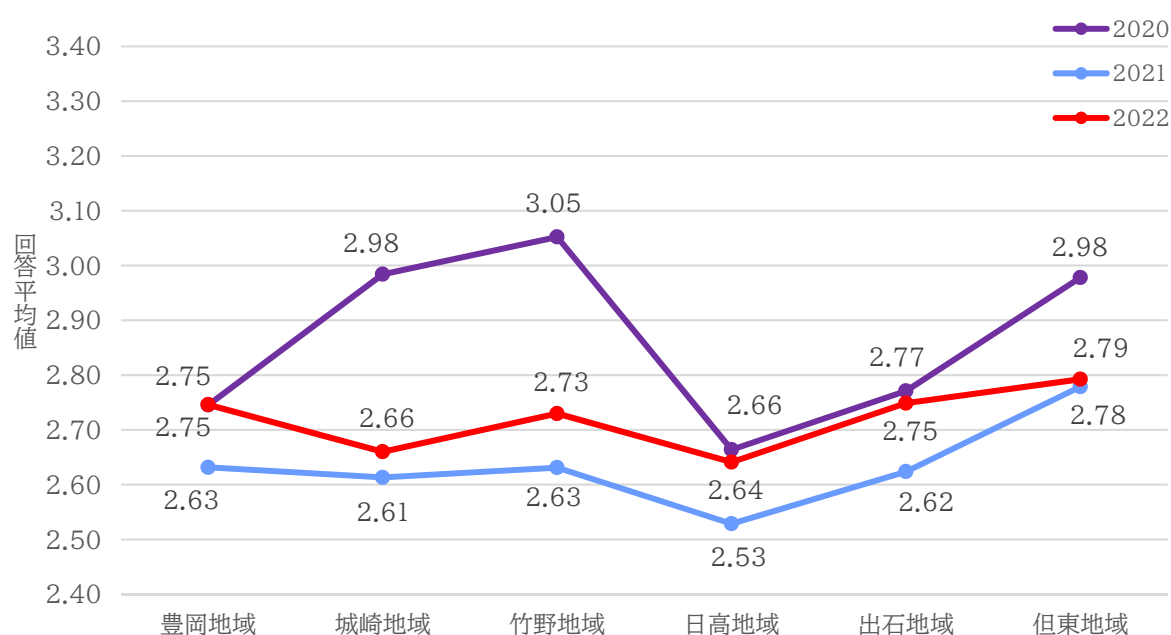
<表20:調査年ごとの回答平均値>

	全体
2020年調査	2.78
2021年調査	2.62
2022年調査	2.72

地域別の結果は、図25のとおりである。

2022年調査においては、地域間では統計的に有意な差はない。

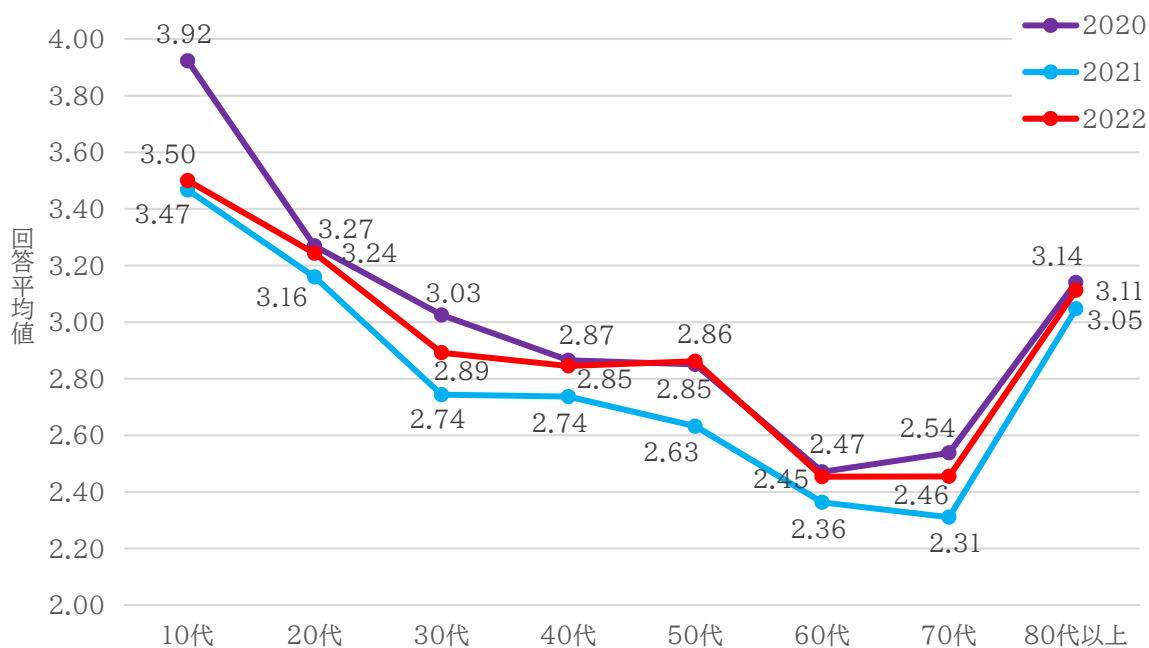
図25:移動手段の不便を感じるかどうか(地域別)



年代別の結果は、図26のとおりである。

これまでの調査から、60代及び70代と他の全ての年代との間で統計的に有意な差があることが分かっている。60代及び70代は他の年代に比べ、移動手段の不便を感じていないと言える。

図26:移動手段の不便を感じるかどうか(年代別)

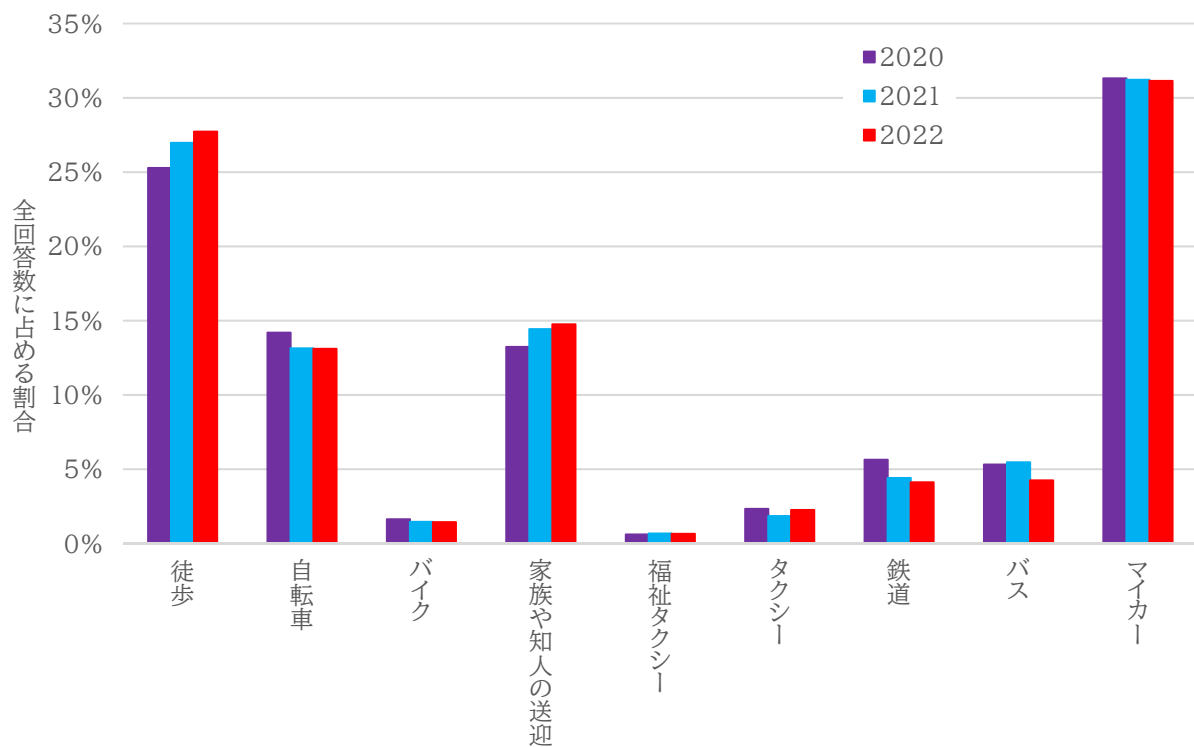


## (2) 問27『あなたは、日常生活で移動するとき、主にどの手段で移動しますか』

これまでの調査における3番目までの選択肢に対する回答者数と全回答数に占める割合についての調査結果は、図27のとおりである。

2022年調査では、「マイカー」(31.1%)、「徒歩」(27.7%)、「家族や知人の送迎」(14.8%)、「自転車」(13.1%)の順で割合が高い。

図27:日常生活で移動するときの手段



2022年調査について、3番目までの選択肢に対する回答者数と全回答数に占める割合の地域別の回答人数及び回答者に占める割合は、表21のとおりである。

指標となる「鉄道」及び「バス」の地域別は太囲みで表示している。

<表21:地域別の回答者数>

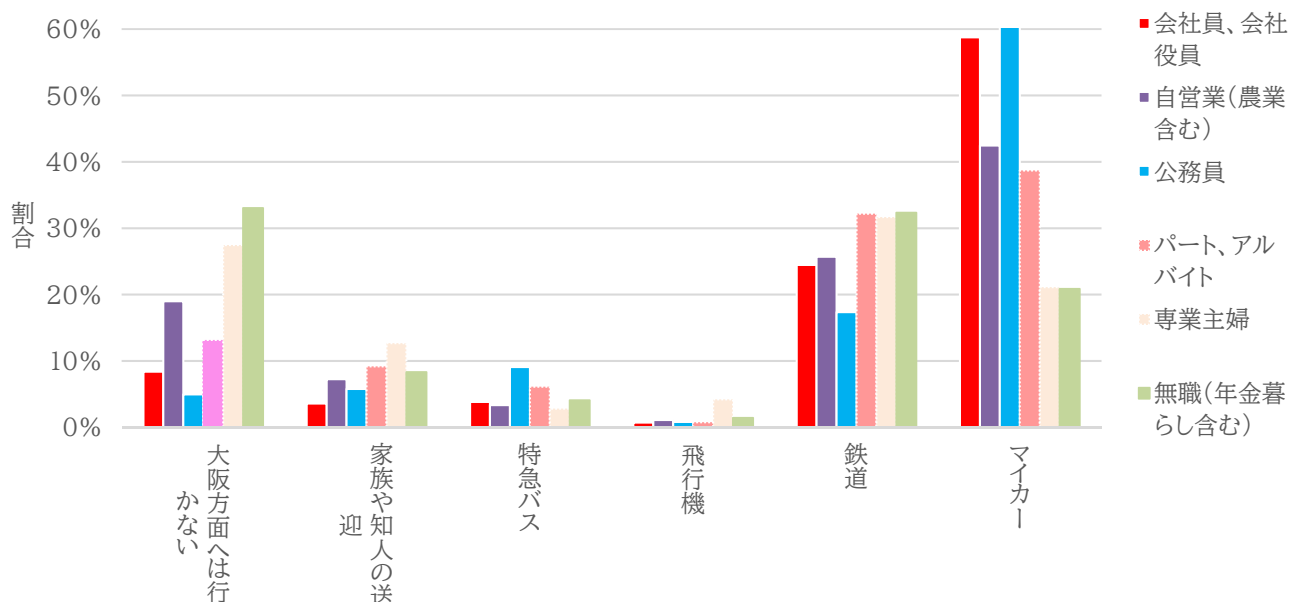
		徒歩	自転車	バイク	家族や 知人の 送迎	福祉タ クシー	タクシー	鉄道	バス	マイカー
豊岡	人数 (人)	710	348	28	360	9	84	96	96	767
	割合 (%)	28.4	13.9	1.1	14.4	0.4	3.4	3.8	3.8	30.7
城崎	人数 (人)	36	16	4	18	1	2	12	9	34
	割合 (%)	27.3	12.1	3.0	13.6	0.8	1.5	9.1	6.8	25.8
竹野	人数 (人)	64	31	6	52	2	2	12	14	81
	割合 (%)	24.2	11.7	2.3	19.7	0.8	0.8	4.5	5.3	30.7
日高	人数 (人)	247	109	18	135	13	8	55	42	297
	割合 (%)	26.7	11.8	1.9	14.6	1.4	0.9	6.0	4.5	32.1
出石	人数 (人)	146	80	3	80	3	7	12	22	160
	割合 (%)	28.5	15.6	0.6	15.6	0.6	1.4	2.3	4.3	31.2
但東	人数 (人)	70	16	6	35	2	2	4	13	94
	割合 (%)	28.9	6.6	2.5	14.5	0.8	0.8	1.7	5.4	38.8

(3) 問28『あなたは大阪方面へ移動する際、主にどの交通手段を用いて移動しますか』

問29『あなたは東京方面へ移動する際、主にどの交通手段を用いて移動しますか』

職業別の交通手段の回答者に占める割合は、図28(大阪方面)、図29(東京方面)のとおりである。ただし、回答者が少ない職業(「学生」、「NGO、NPO」及び「その他」)を除外している。

図28:職業別の交通手段(大阪方面)



問28(大阪方面)の職業別の交通手段の回答者に占める割合について、2022年調査と2021年調査との差は、表22のとおりである。

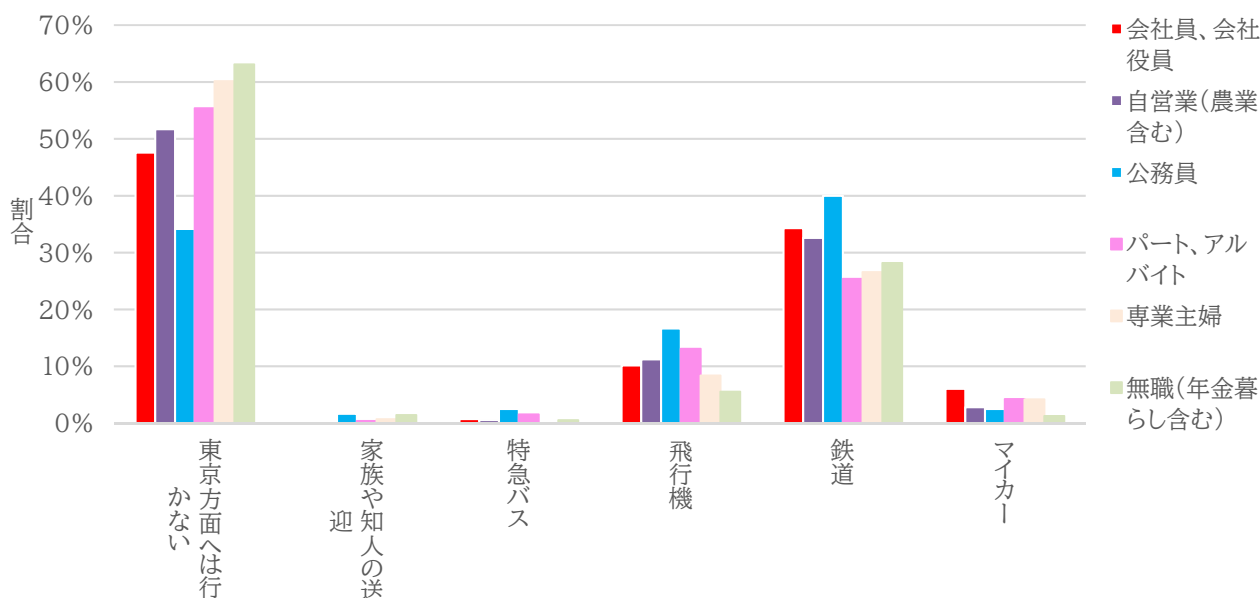
コロナ禍の影響により遠方への外出を控えた人が増加した可能性、ビジネスにおける交通手段の変化の可能性がある。

<表22:2022年調査と2021年調査との差>

	大阪方面へは行かない	家族や知人の送迎	特急バス	飛行機	鉄道	マイカー
会社員、会社役員	0.7%	-0.9%	-1.0%	-0.1%	1.1%	0.2%
自営業(農業含む)	4.9%	3.5%	1.2%	0.0%	-8.9%	-1.9%
公務員	-0.8%	2.5%	0.9%	-0.8%	-13.8%	12.0%
パート、アルバイト	-3.5%	-2.6%	1.4%	0.4%	5.4%	-0.8%
専業主婦	5.0%	-4.3%	-5.7%	3.0%	5.6%	-3.1%
無職(年金暮らし含む)	-2.8%	-1.4%	-0.6%	0.4%	-0.2%	5.0%

問29(東京方面)については、「公務員」以外は4割以上の割合で東京方面には行かないと回答している。「公務員」の約2割は「飛行機」、約5割が「鉄道」を利用すると回答している。

図29:職業別の交通手段(東京方面)



問29(東京方面)の職業別の交通手段の回答者に占める割合について、2022年調査と2021年調査との差は、表23のとおりである。

コロナ禍の影響により遠方への外出を控えた人が増加した可能性、ビジネスにおける交通手段の変化の可能性がある。

<表23:2021年調査と2020年調査との差>

	東京方面へは行かない	家族や知人の送迎	特急バス	飛行機	鉄道	マイカー
会社員、会社役員	5.4%	0.2%	-1.1%	-3.5%	-1.3%	0.3%
自営業(農業含む)	2.5%	-1.1%	-0.5%	3.7%	-4.7%	-1.0%
公務員	9.4%	0.8%	2.5%	-4.8%	-7.1%	-3.3%
パート、アルバイト	-5.4%	-0.9%	-0.7%	8.0%	-0.4%	-0.2%
専業主婦	-3.1%	-1.1%	0.0%	-1.4%	2.6%	3.6%
無職(年金暮らし含む)	-3.9%	0.5%	0.0%	0.8%	3.8%	-0.9%

## 7 食と農業について(問 30～問 31)

### (1) 問30『あなたは家庭で作る食事に、オーガニック、無農薬、減農薬の食材・食品を使っていますか』

これまでの調査における回答平均は、表24のとおりである。

2021年調査と2022年調査の回答平均値との間には、統計的に有意な差はない。

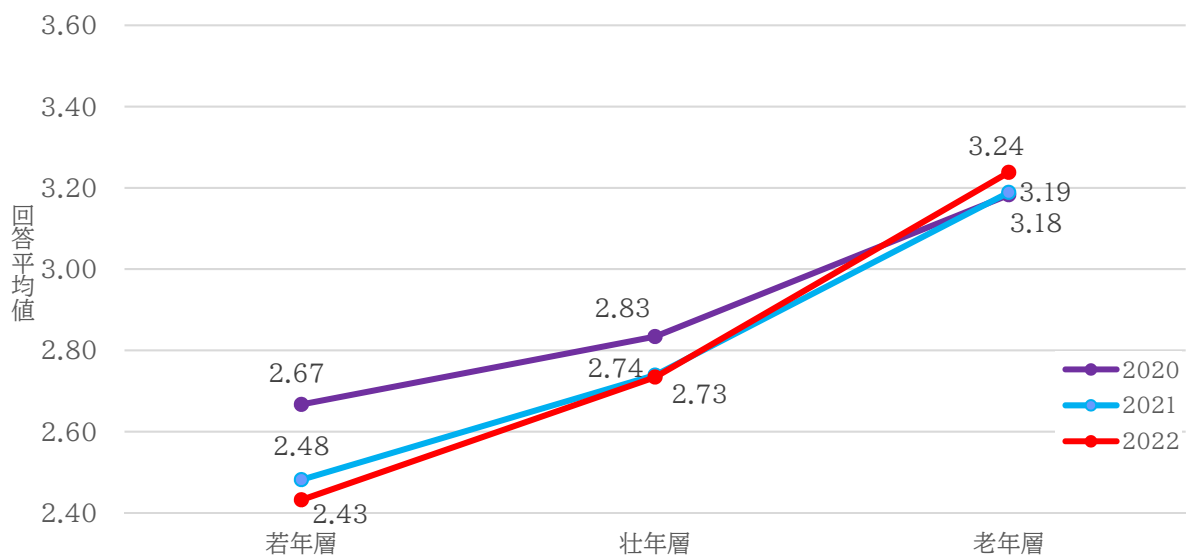
<表24:調査年ごとの回答平均値>

	全体
2020年調査	2.95
2021年調査	2.88
2022年調査	2.90

年齢層別の結果は、図30のとおりである。

これまでの調査で、老年層と若年層及び壮年層との間で統計的に有意な差があることが分かっており、老年層は他の年齢層に比べ、オーガニック等の食材・食品の使用頻度は高いと言える。

図30:オーガニック等の食材・食品の使用(年齢層別)

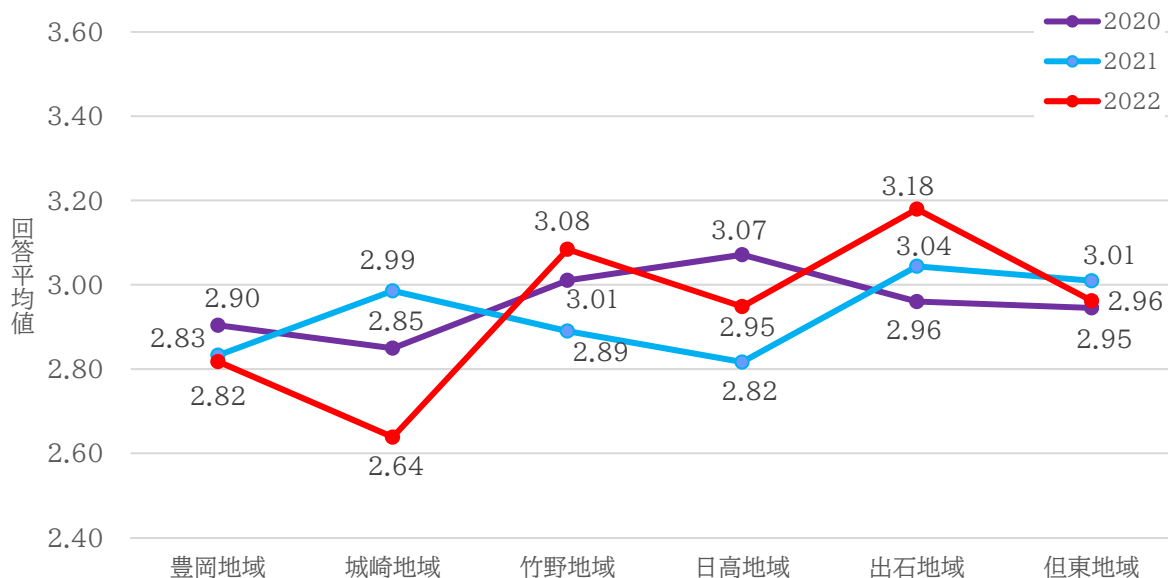


2022年調査においても男女間で統計的に有意な差があり、女性は男性に比べ、オーガニック等の食材・食品の使用頻度は高いと言える。

これまでの調査における地域別の結果は、図31のとおりである。

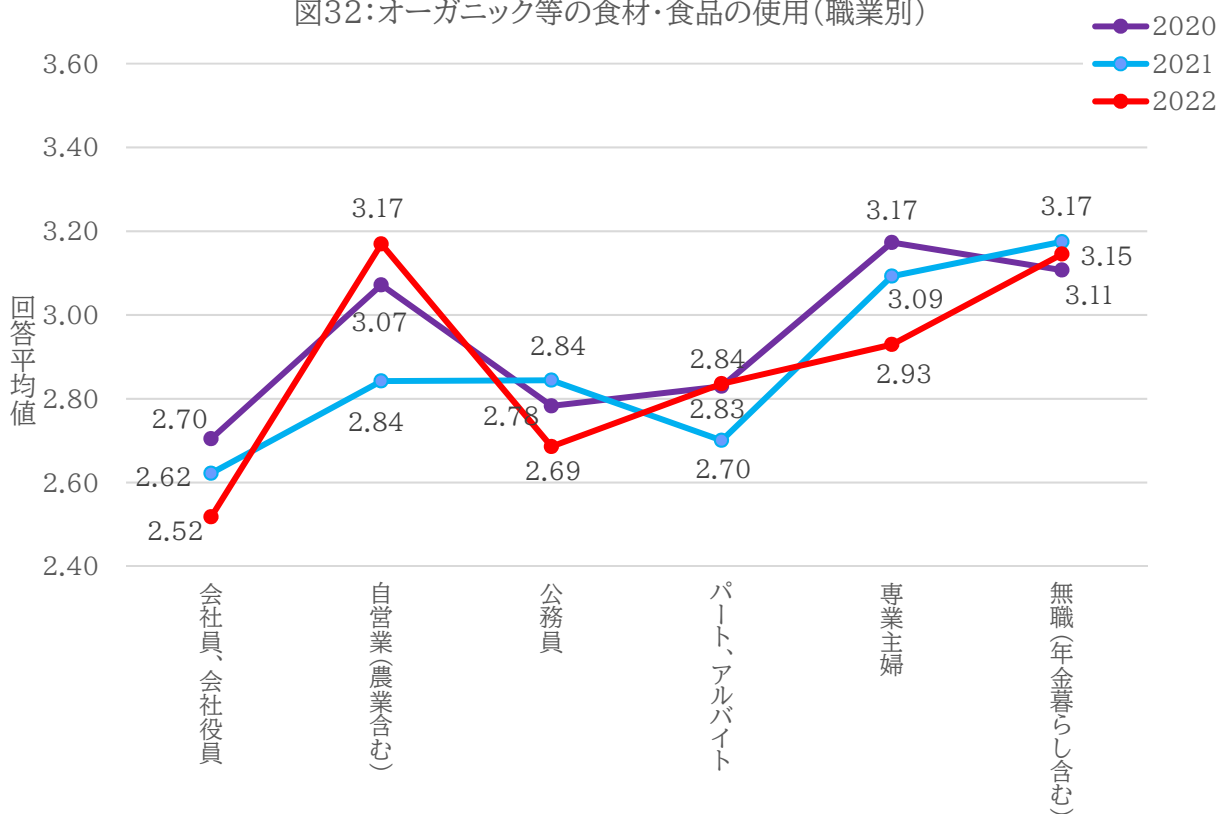
2022年調査においては、城崎地域と他の地域との間で統計的に有意な差がある。城崎地域は他の地域に比べ、オーガニック等の食材・食品の使用頻度が低いと言える。

図31:オーガニック等の食材・食品の使用(地域別)



これまでの調査における職業別の結果は、図32のとおりである。

図32:オーガニック等の食材・食品の使用(職業別)



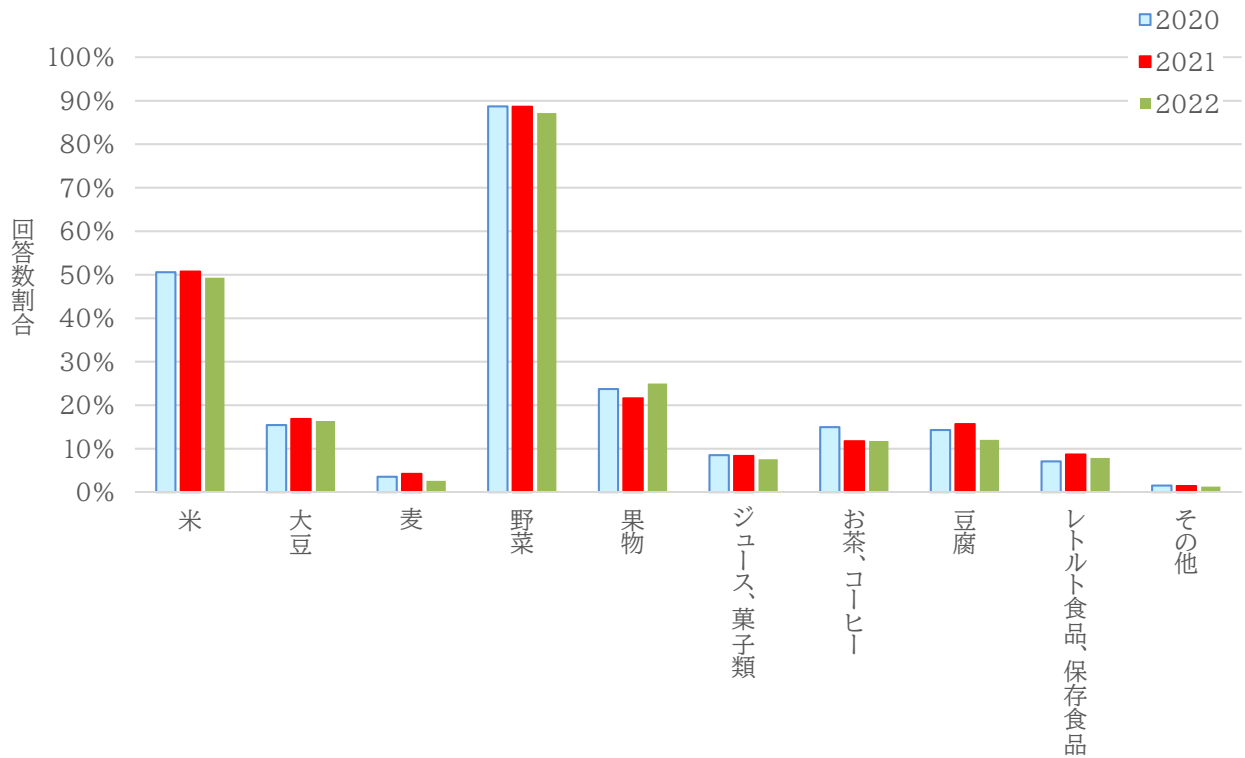


(2) 問 31『使っているオーガニック、無農薬、減農薬の食材はどのようなものですか』

これまでの調査における回答者に占める回答数の割合は、図33のとおりである。

「野菜」及び「米」を使っていると回答する人が多い。

図33:使っているオーガニック等の食材



2022年調査におけるその他の項目は、下記のとおりである。

- ・みそ
- ・醤油
- ・調味料
- ・スーパーフード
- ・だし昆布
- ・スパイス
- ・ワイン

## 8 地域の歴史、伝統、文化芸術(問 32～問 37)

### (1) 問32『あなたは、地域の歴史、伝統、文化を「わが町の誇りだ」と感じますか』

これまでの調査における回答平均は、表25のとおりである。

2021年調査と2022年調査の回答平均値との間には、統計的に有意な差はない。

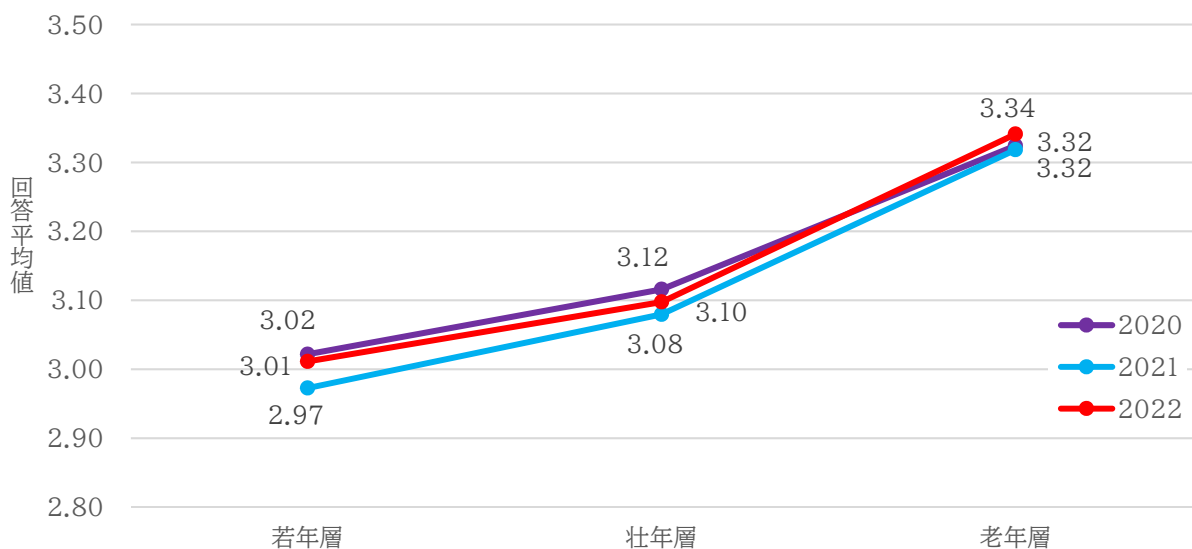
<表25:調査年ごとの回答平均値>

	全体
2020年調査	3.19
2021年調査	3.15
2022年調査	3.18

年齢層別の結果は、図34のとおりである。

これまでの調査から、老年層と若年層及び壮年層との間に統計的に有意な差があることが分かっており、老年層は他の年齢層に比べ、地域の歴史等を誇りに思っていると言える。

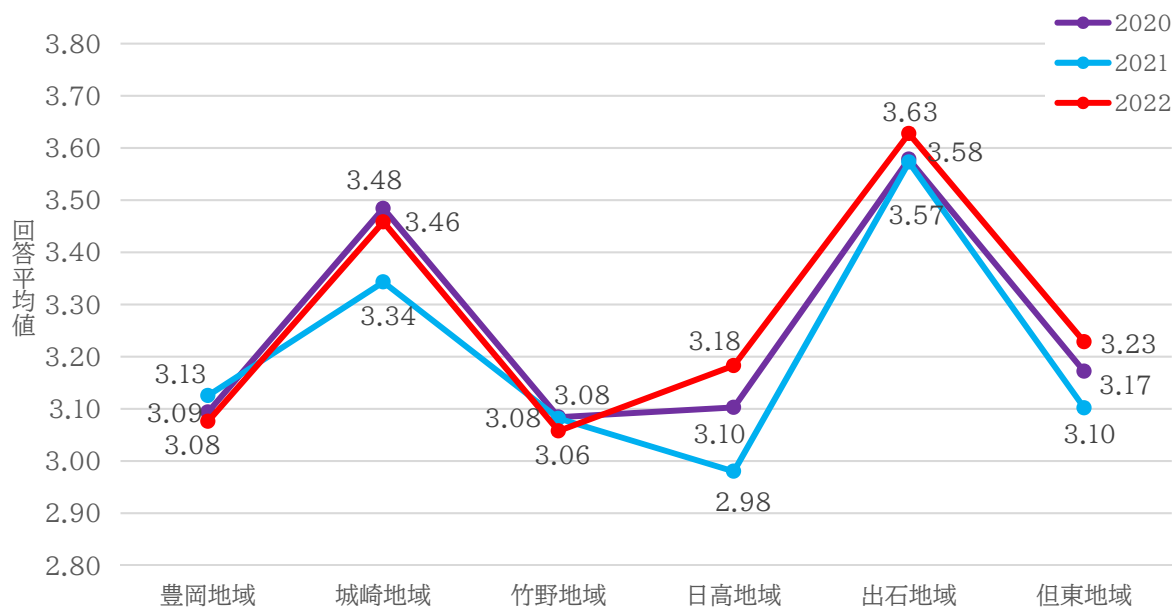
図34:地域の歴史等と誇りに思うか(年齢層別)



地域別の結果は、図35のとおりである。

これまでの調査を通じて、城崎地域と出石地域は他の地域との間で統計的に有意な差がある。城崎地域と出石地域は他の地域と比べ、地域の歴史等を誇りに思っていると言える。

図35:地域の歴史等を誇りに思うか(地域別)

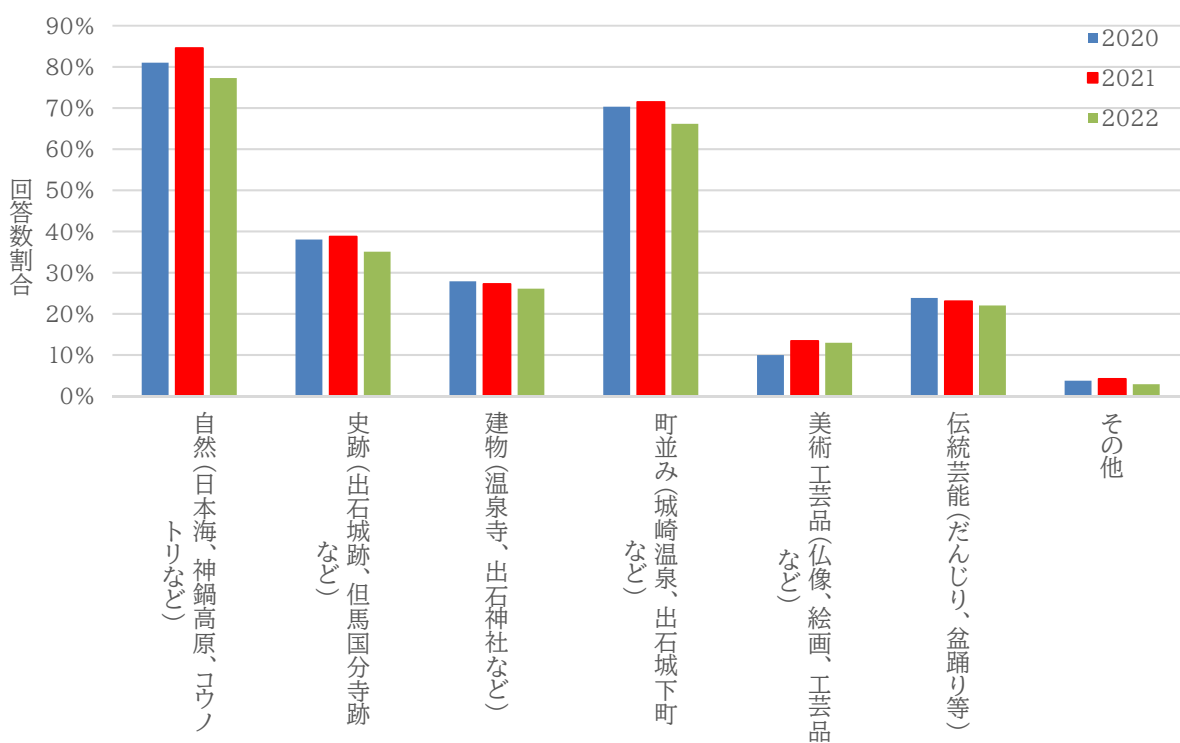


(2) 問33『あなたは、次の中で豊岡市の誇りだと感じているものがありますか』

これまでの調査について、回答者に占める回答数の割合は、図36のとおりである。

「自然」及び「町並み」の回答数の割合は、他の選択肢に比べ高い。

図36:誇りに感じる具体的対象



(3) 問34『あなたは、市外の人やマスメディア、SNSなどの評価によって、豊岡の歴史、伝統、文化の素晴らしさに気付かされたことはありますか』

これまでの調査における回答平均は、表26のとおりである。

2021年調査と2022年調査の回答平均値の間には、統計的に有意な差はない。

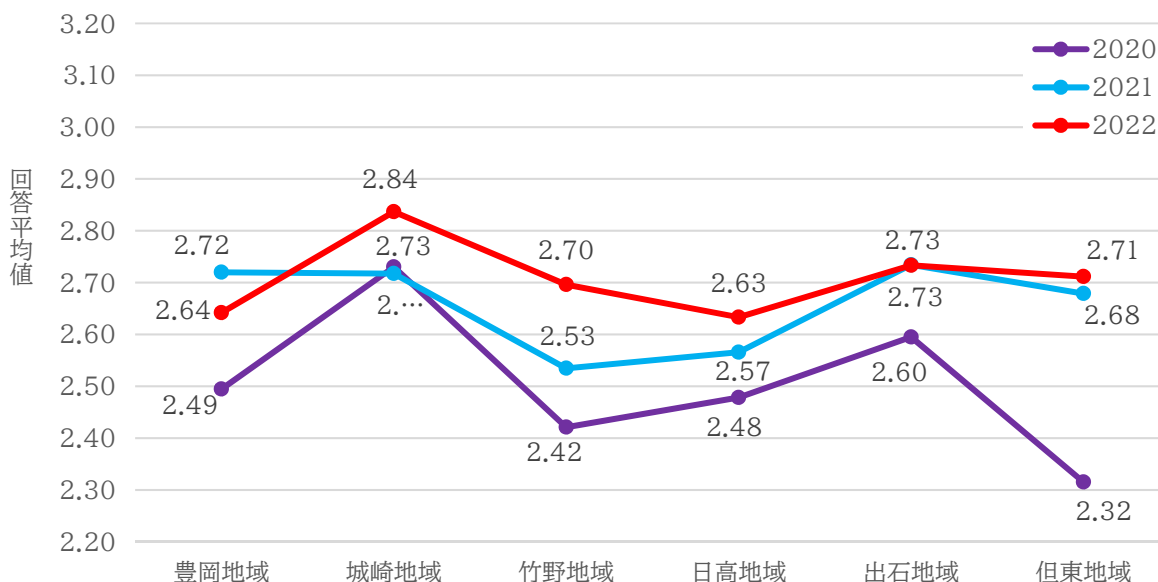
<表26:調査年ごとの回答平均値>

	全体
2020年調査	2.51
2021年調査	2.68
2022年調査	2.67

地域別の結果は、図37のとおりである。

2022年調査においては、城崎地域と他の地域との間で統計的に有意な差がある。城崎地域は他の地域に比べ、市外の人やマスメディア、SNSなどの評価によって歴史等の素晴らしさに気付かされる頻度は多いと言える。

図37:地域外からの評価が歴史等を守る動機になっているか(地域別)



(4) 問35『あなたは、豊岡市を文化芸術の盛んなまちだと思いますか』

これまでの調査における回答平均は、表27のとおりである。

2021年調査と2022年調査の回答平均値との間には、統計的に有意な差はない。

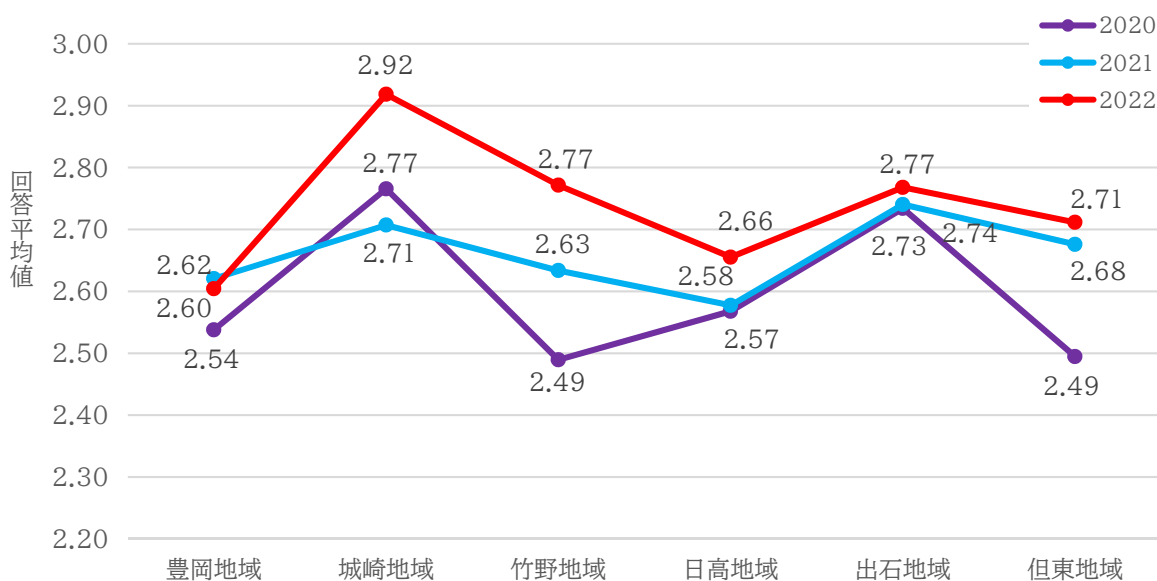
<表27:調査年ごとの回答平均値>

	全体
2020年調査	2.58
2021年調査	2.63
2022年調査	2.66

地域別の結果は、図38のとおりである。

2022年調査においては、城崎地域と他の地域との間で統計的に有意な差がある。城崎地域は他の地域に比べ、文化芸術が盛んなまちだと思っていると言える。

図38:文化芸術が盛んなまちだと思うか(地域別)



男女間では、これまでの調査から統計的に有意な差があることが分かっており、女性は男性に比べ、豊岡市が文化芸術の盛んなまちだと思っていると言える。

(5) 問36『あなたは、一流のアーティストが創作する舞台芸術や芸術作品など、質の高い文化芸術に気軽に触れられる機会が多いまちだと思いますか』

これまでの調査における回答平均は、表28のとおりである。

2021年調査と2022年調査の回答平均値との間には、統計的に有意な差はない。

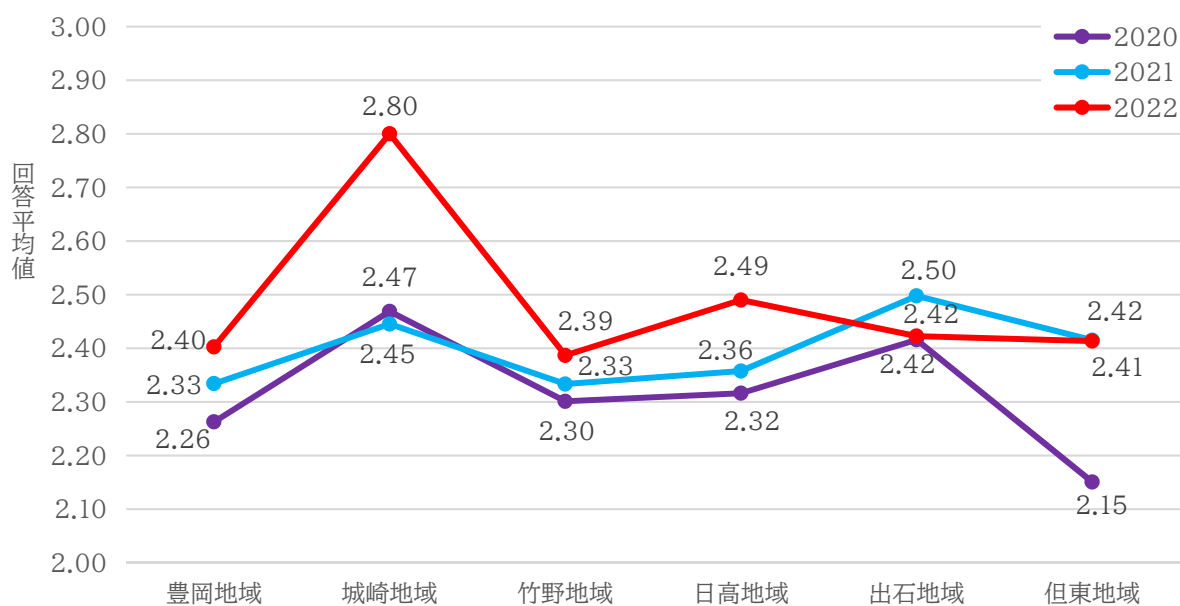
<表28:調査年ごとの回答平均値>

	全体
2020年調査	2.31
2021年調査	2.37
2022年調査	2.43

地域別の結果は、図39のとおりである。

2022年調査において、城崎地域と他の地域との間に統計的に有意な差がある。城崎地域は他の地域に比べ、質の高い文化芸術に触れられる機会が多いと感じていると言える。

図39:質の高い文化芸術に触れられる(地域別)



(6) 問37『あなたは、豊岡市で活動するアーティストやクリエイターを応援したいと思いますか』

これまでの調査における回答平均は、表29のとおりである。

2021年調査と2022年調査の回答平均値との間には、統計的に有意な差はない。

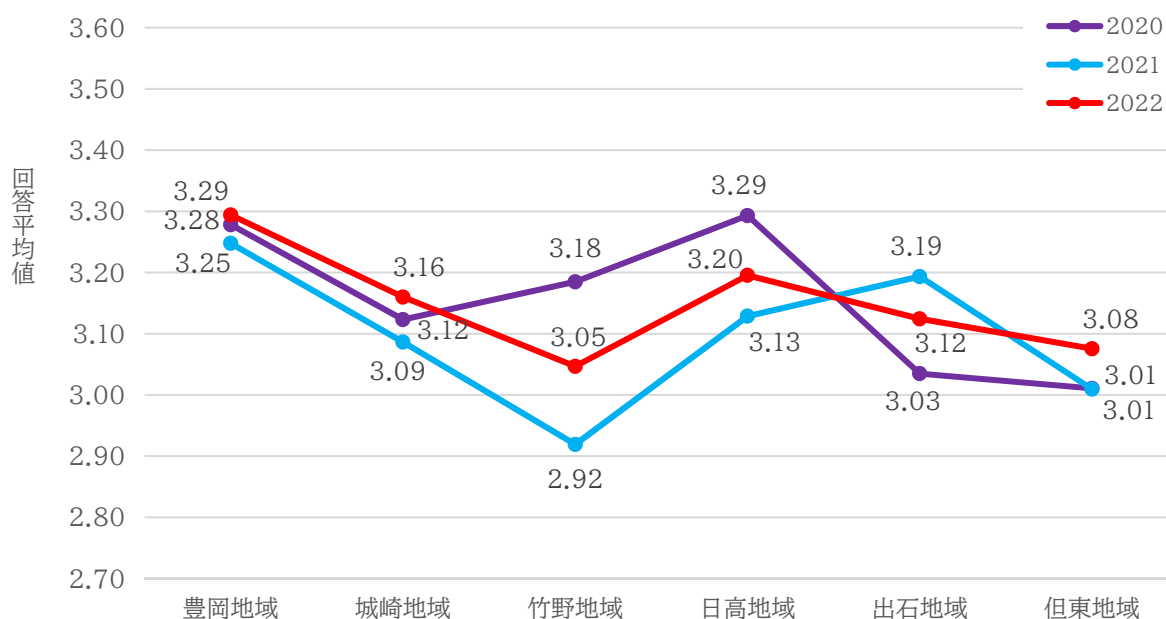
<表29:調査年ごとの回答平均値>

	全体
2020年調査	3.22
2021年調査	3.17
2022年調査	3.23

地域別の結果は、図40のとおりである。

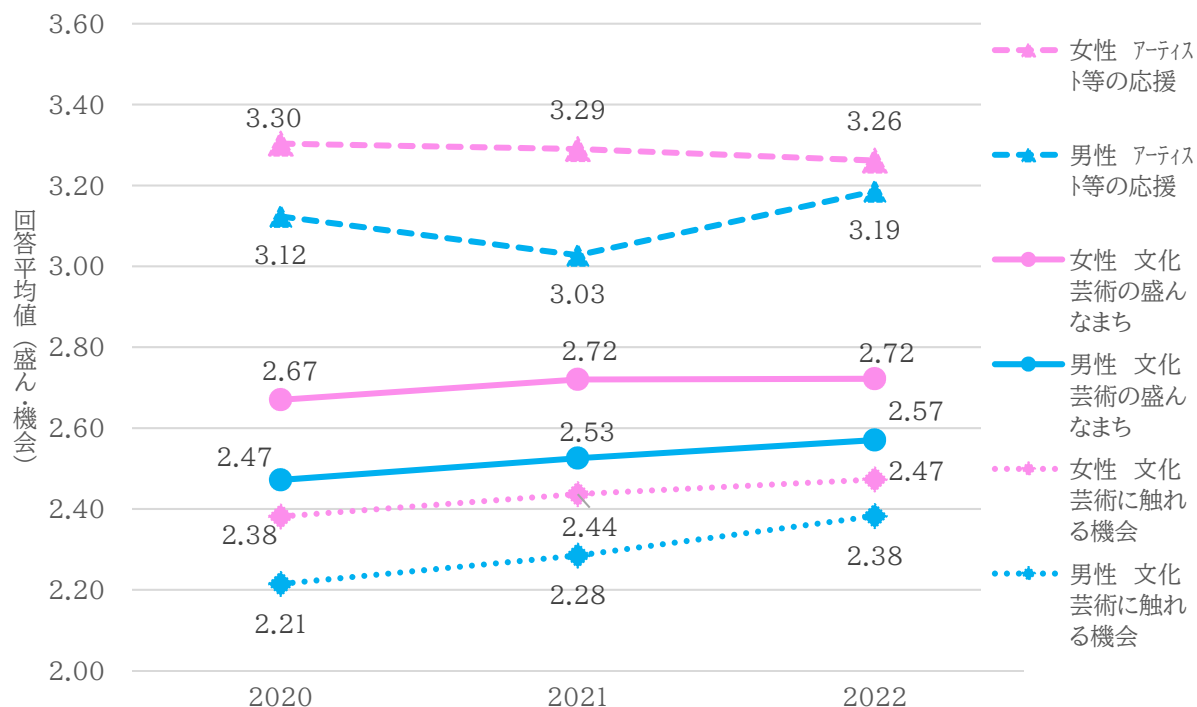
2022年調査において、豊岡地域と竹野地域及び但東地域との間に統計的に有意な差がある。これらの地域間では、アーティスト等を応援する風土に差があると言える。

図40:アーティスト等を応援する風土(地域別)



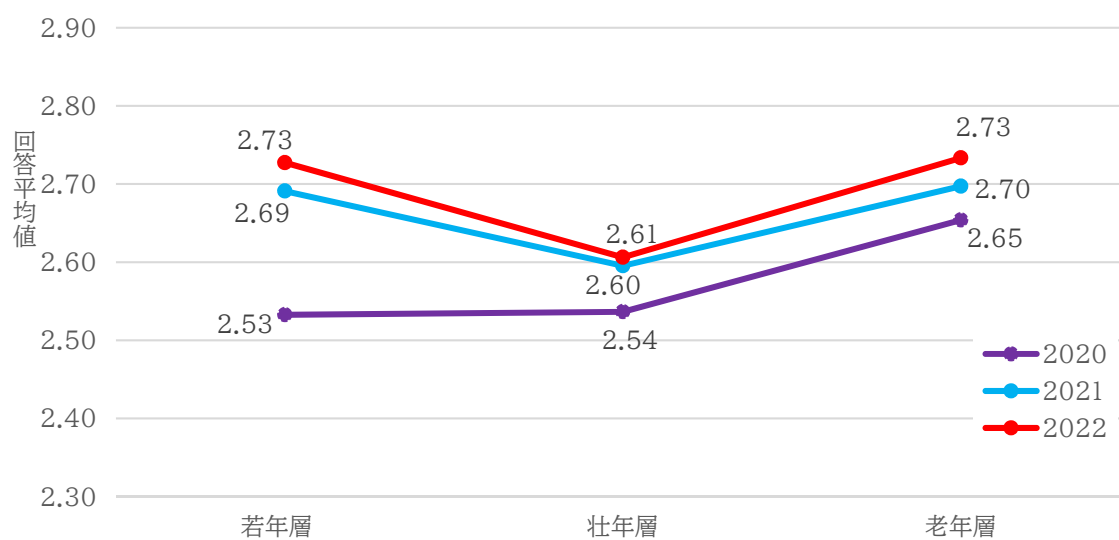
問35～問37における男女別の結果は、図41のとおりである。  
 2022年調査においては、男女間で統計的に有意な差はない。

図41:問35～問37の回答平均値(男女別)



年齢層別の結果は、図42のとおりである。  
 若年層及び老年層は壮年層に比べ、アーティスト等を応援する風土が育っている。

図42:アーティスト等を応援する風土(年齢層別)





9 防災について(問 38～問 44)

(1) 問38『あなたは、市民総参加訓練に参加していますか』

これまでの調査における回答平均は、表30のとおりである。

2021年調査と2022年調査の回答平均値との間には、統計的に有意な差はない。

2020年調査と2022年調査の回答平均値との間には、統計的に有意な差がある。

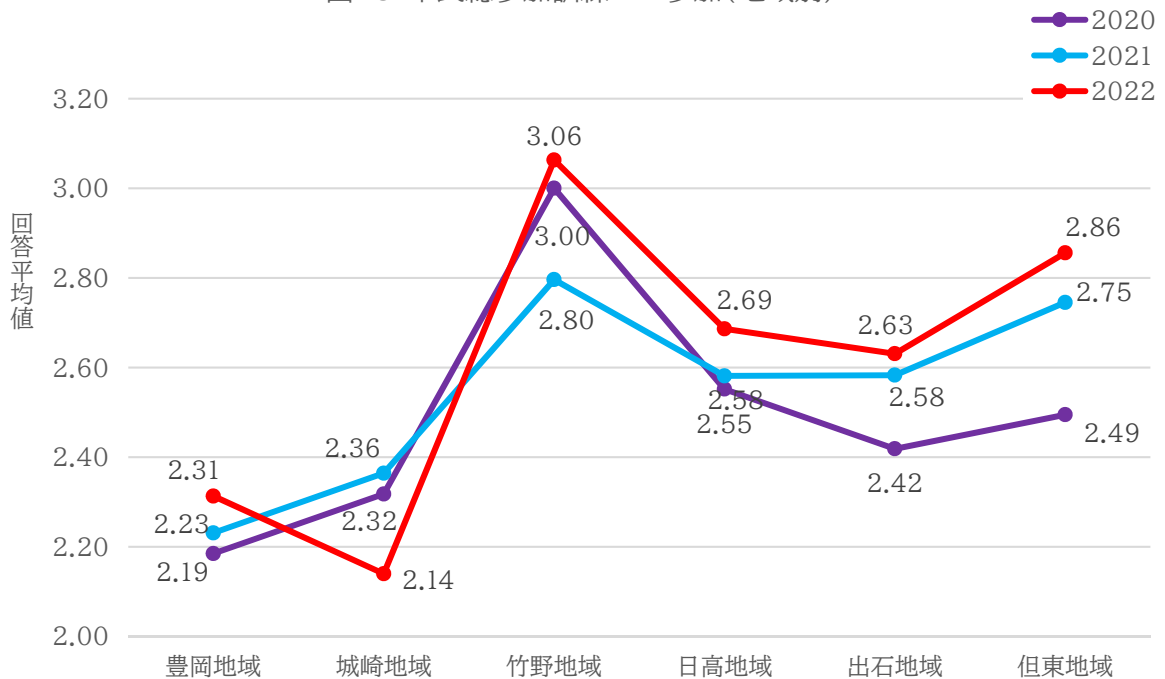
<表30:調査年ごとの回答平均値>

	全体
2020年調査	2.36
2021年調査	2.41
2022年調査	2.50

地域別の結果は図43のとおりである。

2022年調査において、豊岡地域と城崎地域は他の地域と統計的に有意な差がある。豊岡地域と城崎地域は他の地域に比べ、市民総参加訓練への参加頻度は低いと言える。

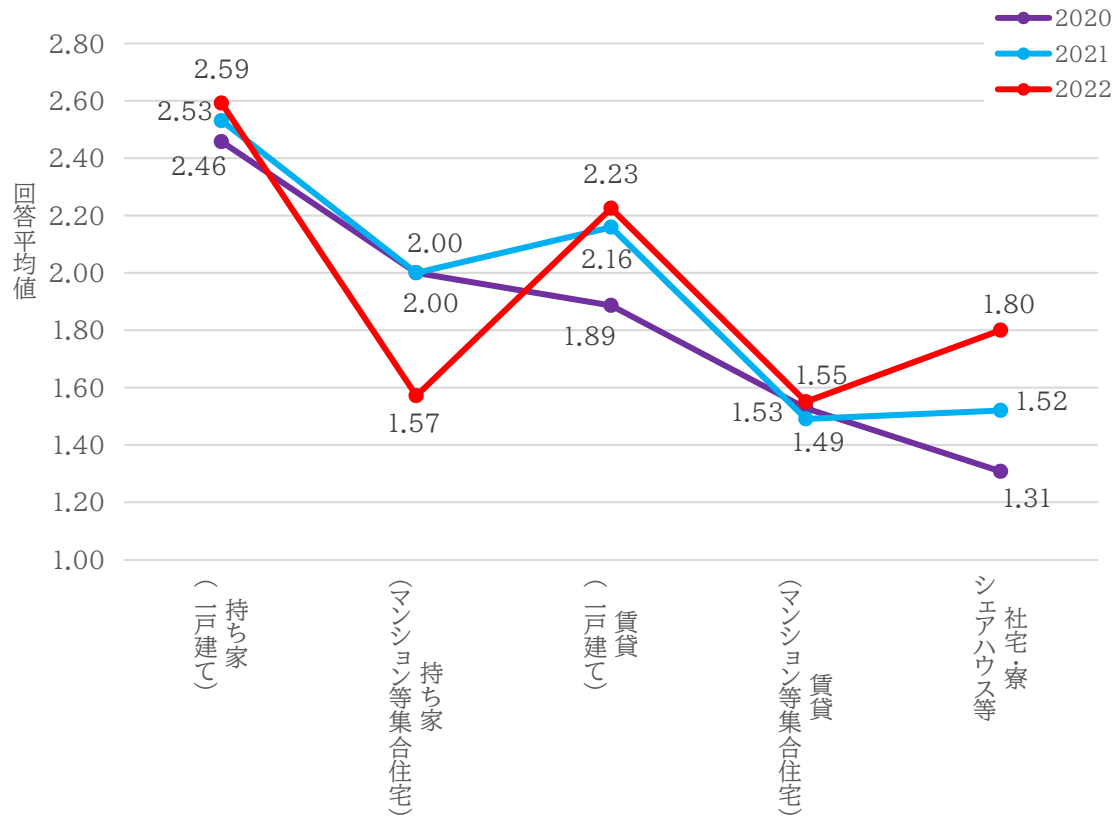
図43:市民総参加訓練への参加(地域別)



住居形態別の結果は、図44のとおりである。

「持ち家(一戸建て)」が高く「賃貸(マンション等集合住宅)」が低い傾向が継続している。

図44: 市民総参加訓練への参加(住居形態別)



(2) 問39『参加したことがないのはなぜですか』

2022年調査における地域別の回答者数割合は、表31のとおりである。

これまでと同様に「市民総参加訓練が実施されているかどうか知らない」及び「仕事や家事、育児、学業などで時間がとれない」の回答が多い。

<表31:市民総参加訓練に参加できない理由(地域別)>

		自 分 の 地 域 に は 総 参 加 訓 練 が 実 施 さ れ て い な い	市 民 総 参 加 訓 練 が 実 施 さ れ て い る か 知 ら な い	仕 事 や 家 事 、 学 業 、 学 童 学 校 で の 学 習 が 忙 し い と い う 理 由 が あ る	訓 練 に と つ き 関 心 が あ ら な い	関 心 が あ ら な い	あ ま り 付 か な い と い う 理 由 が あ る	入 ら な い と い う 理 由 が あ る	その他
豊岡地域	人数 (人)	23	136	98	15	53	28	28	24
	割合 (%)	7.1	42.0	30.2	4.6	14.3	8.6	8.6	7.4
城崎地域	人数 (人)	2	13	5	1	3	1	0	2
	割合 (%)	8.3	54.2	20.8	4.2	12.5	4.2	0.0	8.3
竹野地域	人数 (人)	3	3	3	3	4	1	1	1
	割合 (%)	23.1	23.1	23.1	23.1	30.8	7.7	7.7	7.7
日高地域	人数 (人)	7	29	33	4	17	10	6	7
	割合 (%)	8.0	33.3	37.9	4.6	19.5	11.5	6.9	8.0
出石地域	人数 (人)	4	24	16	1	9	6	4	2
	割合 (%)	9.2	49.0	32.7	2.0	18.4	12.2	8.2	4.1
但東地域	人数 (人)	6	9	4	0	3	1	0	3
	割合 (%)	28.6	42.9	19.0	0.0	14.3	4.8	0.0	14.3

(3) 問40『あなたは、災害が発生したとき、自分自身の身を守る行動がとれると思いますか』

これまでの調査における回答平均は、表32のとおりである。

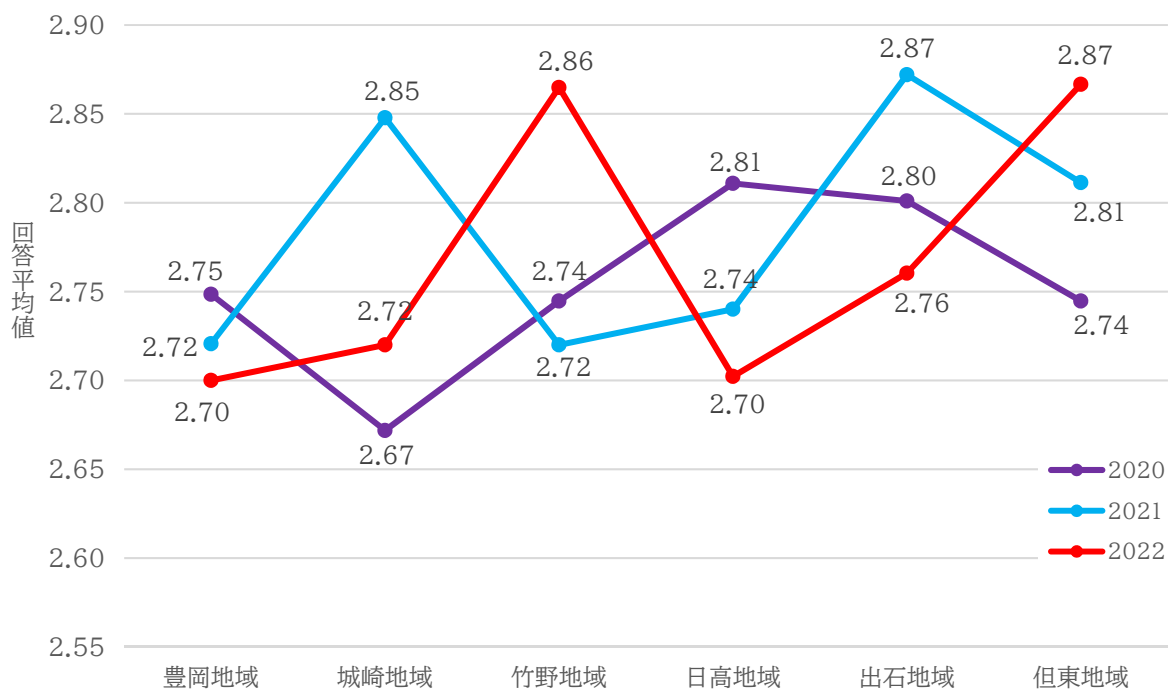
2021年調査と2022年調査の回答平均値の間には、統計的に有意な差はない。

<表32:調査年ごとの回答平均値>

	全体
2020年調査	2.76
2021年調査	2.75
2022年調査	2.73

地域別の結果は、図45のとおりである。調査年によって回答平均値が変化しており、地域別の傾向はみられない。

図45:災害が発生したとき自分自身の身を守れるか(地域別)



(4) 問41『あなたは次の防災活動に参加したことがありますか』

地域別の回答者数とその割合は、表33のとおりである。

「区で行われる訓練」は多くの回答者が選択している。

<表33:回答者数とその割合>

		区で行われる訓練(市参加以外)	市政出前講座	区、ユ、コ、ミ、ニ、テ、イ、ワ、レ、ワ、ク、シ、ョ、で、行、わ、れ、る、防、災、ワ、ク、ッ、プ	防 災 学 習 会	北 但 大 震 災 メ リ ア ル 写 真 展	台 風 23 号 メ モ リ ア ル 写 真 展
豊岡地域	人数 (人)	546	51	95	88	78	116
	割合 (%)	55.2	5.2	9.6	8.9	7.9	11.7
城崎地域	人数 (人)	24	1	4	2	4	3
	割合 (%)	48.0	2.0	8.0	4.0	8.0	6.0
竹野地域	人数 (人)	76	9	16	10	4	4
	割合 (%)	67.3	8.0	14.2	8.8	3.5	3.5
日高地域	人数 (人)	207	20	55	31	21	26
	割合 (%)	57.7	5.6	15.3	9.6	5.8	7.2
出石地域	人数 (人)	130	10	31	16	9	15
	割合 (%)	65.7	5.1	15.7	8.1	4.5	7.6
但東地域	人数 (人)	62	4	10	8	0	3
	割合 (%)	57.4	3.7	9.3	7.4	0.0	2.8

(5) 問4『あなたは、以前に比べてあなたの地域での防災活動は活発に行われていると思いますか』

これまでの調査における回答平均は、表34のとおりである。

2021年調査と2022年調査の回答平均値との間には、統計的に有意な差はない。

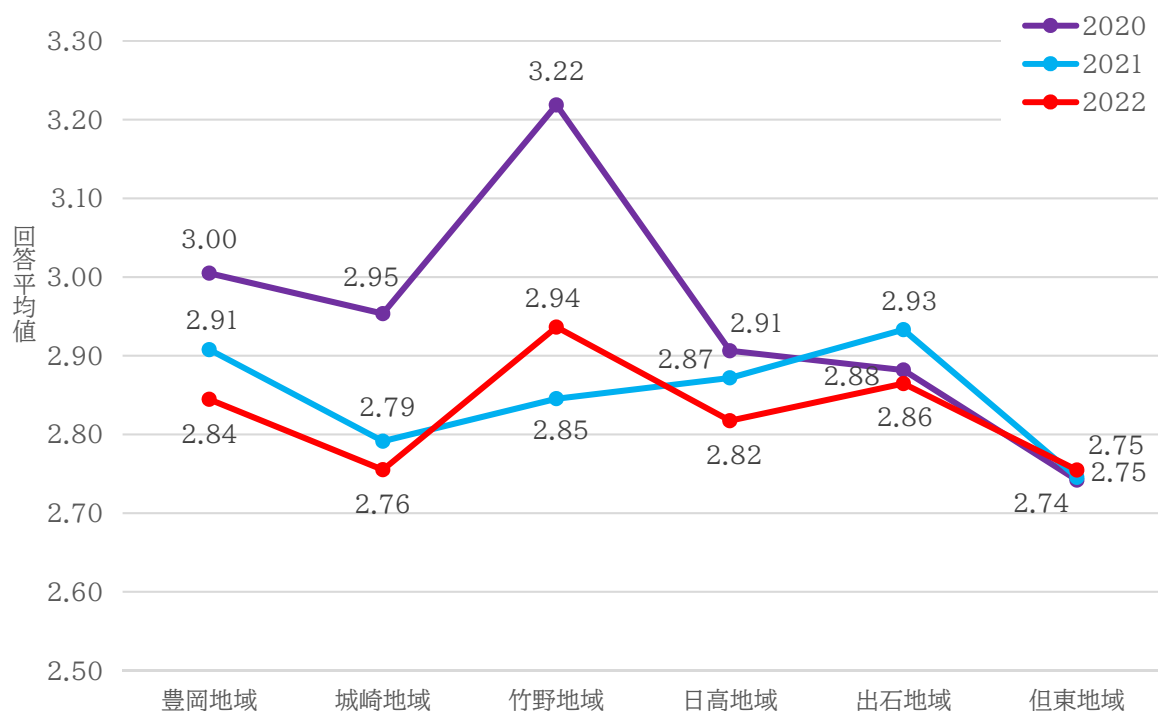
<表34:調査年ごとの回答平均値>

	全体
2020年調査	2.97
2021年調査	2.88
2022年調査	2.84

地域別の結果は、図46のとおりである。

2022年調査については、地域間で統計的に有意な差はない。

図46:以前に比べ地域での防災活動は活発か(地域別)



(6) 問43『あなたは災害に備えて次のことを実践していますか』

地域別の回答者数とその割合は、表35のとおりである。

「防災マップの保管」及び「避難場所の確認」は、約半数の回答者が選択している。

<表35:回答者数とその割合>

		非常持 出品の 準備	家具の 転倒防 止	耐震診 断や耐 震改修	防災マ ップを 保管	避難場 所の確 認	避難ル ートの 確認	助けが 必要を 人認	家族と 話し合 い	防線機 電池交 換	無の交 換	とよお か防災 ネットに 登録
豊岡	人数 (人)	353	214	95	488	438	223	204	222	307		152
	割合 (%)	35.7	21.6	9.6	49.3	44.2	22.5	20.6	22.4	31.0		15.4
城崎	人数 (人)	17	11	5	22	19	8	18	6	16		7
	割合 (%)	34.0	22.0	10.0	44.0	38.0	16.0	36.0	12.0	32.0		14.0
竹野	人数 (人)	41	21	12	63	60	41	32	29	38		18
	割合 (%)	36.3	18.6	10.6	55.8	53.1	36.3	28.3	25.7	33.6		15.9
日高	人数 (人)	118	64	19	187	146	76	84	75	128		59
	割合 (%)	32.9	17.8	5.3	52.1	40.7	21.2	23.4	20.9	35.7		16.4
出石	人数 (人)	69	45	16	106	101	40	67	45	71		26
	割合 (%)	34.8	22.7	8.1	53.5	51.0	20.2	33.8	22.7	35.9		13.1
但東	人数 (人)	31	16	4	53	50	24	33	16	31		8
	割合 (%)	28.7	14.8	3.7	49.1	46.3	22.2	30.6	14.8	28.7		7.4

(7) 問44『「特別警報」は数十年に一度の、これまでに経験したことのないような、重大な危険が差し迫った異常な状況となったとき、気象庁より発表されます。「特別警報」が発表された時には、通常救助に駆けつける消防職員や消防団員など防災関係者自身も、まずは自分の命を守る行動をとらなければなりません。あなたは、この「特別警報」のことを知っていましたか』

2022年調査における男女別の結果は、表36のとおりである。

男性は、女性に比べ「特別警報」についての知識があると言える。

<表36:男女別の回答者数及び割合>

		男性		女性	
		人数(人)	割合	人数(人)	割合
「特別警報」について	まったく知らなかった	68	8.5%	88	9.0%
	聞いたことはあったが、どのようなものかは知らなかった	216	27.1%	342	35.1%
	ある程度、どのようなものかも知っていた	382	47.9%	461	47.4%
	「特別警報」がどのようなものか、よく知っていた	132	16.5%	82	8.4%



10 まちづくりと観光について(問 45～問 48)

(1) 問45『あなたは、豊岡市で暮らすことに価値や魅力があると感じていますか』

問46『あなたは、進学や就職で豊岡市を出ていく子どもたちに対し、将来帰ってきて欲しいと思いますか』

これまでの調査における回答平均は、表37のとおりである。

問45については、2021年調査と2022年調査の回答平均値との間に統計的に有意な差があり、否定的な回答が増加していると言える。

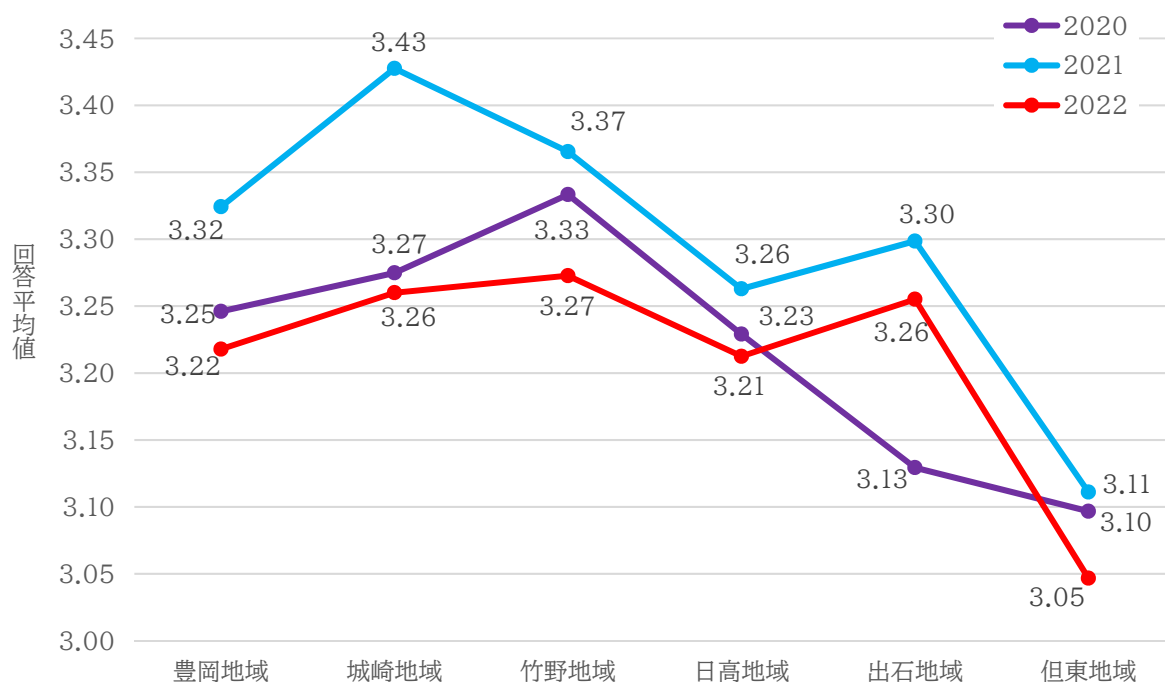
問46については、2021年調査と2022年調査の回答平均値との間に統計的に有意な差はない。

<表37:調査年ごとの回答平均値>

	問 45	問 46
2020年調査	3.23	3.56
2021年調査	3.31	3.50
2022年調査	3.21	3.48

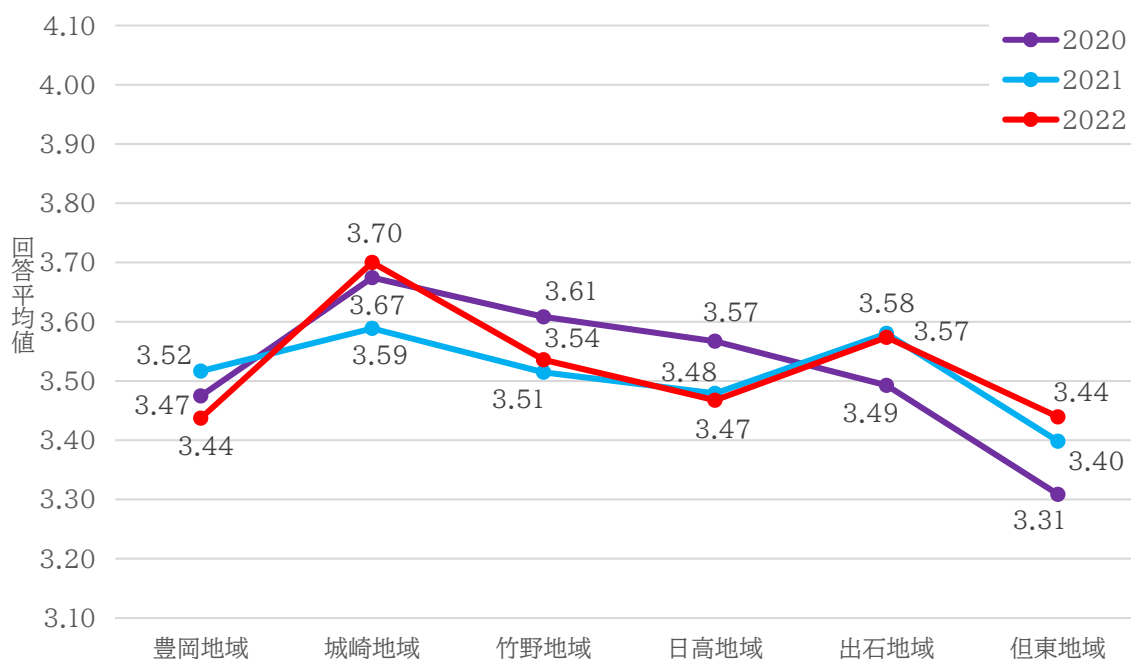
問45のこれまでの調査における地域別の結果は、図47のとおりである。

図47:豊岡市で暮らすことに価値や魅力があると感じているか(地域別)



問46のこれまでの調査における地域別の結果は、図48のとおりである。

図48:進学や就職で豊岡市を出ていく子どもたちに対し、  
将来帰ってきて欲しいか(地域別)



(2) 問47『あなたの地域(合併前の旧市町)にもっと観光客が来てほしいと思いますか』

問48『市外の人に、豊岡市を、訪れる価値のあるまちとして勧めたいと思いますか』

これまでの調査における回答平均は、表38のとおりである。

2021年調査と2022年調査との間で統計的に有意な差はない。

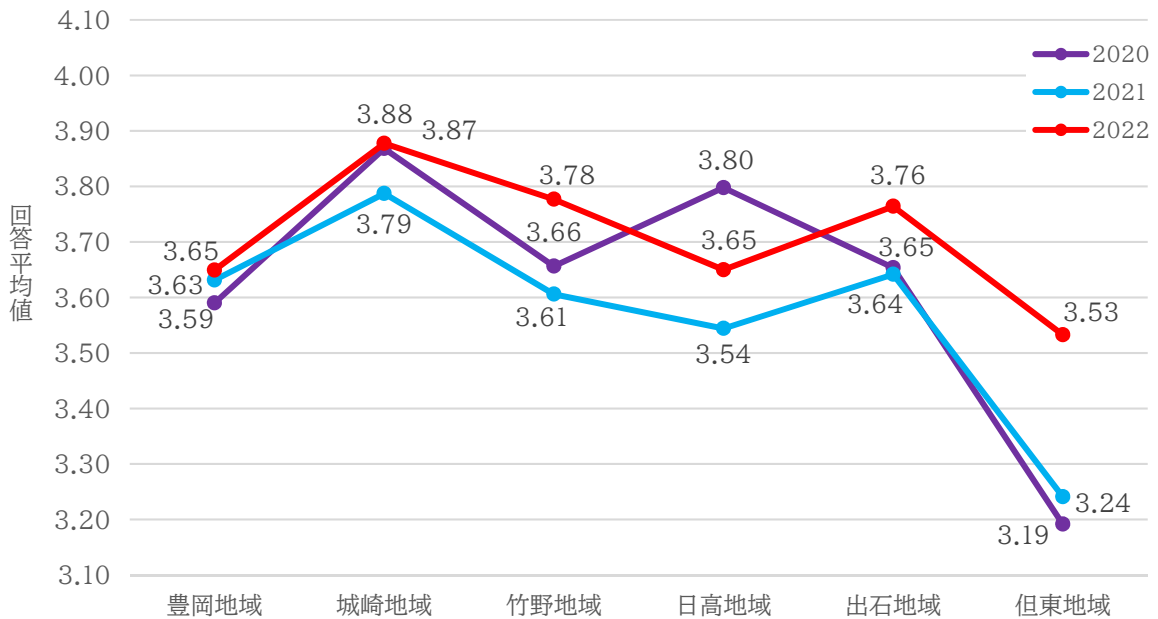
<表38:調査年ごとの回答平均値>

	問 47	問 48
2020年調査	3.64	3.51
2021年調査	3.60	3.51
2022年調査	3.67	3.47

これまでの調査における問47の地域別の結果は、図49のとおりである。

2022年調査においては、城崎地域と他の地域との間で統計的に有意な差がある。城崎地域は他の地域に比べ、もっと観光客が来てほしいと思っている人が多いと言える。

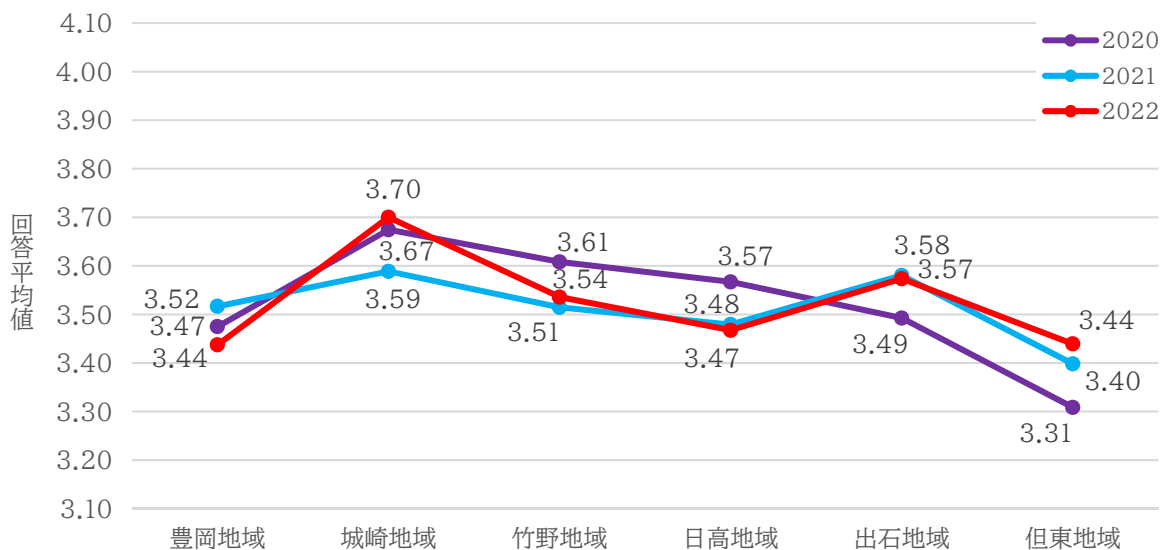
図49:地域(合併前の旧市町)にもっと観光客が来てほしいと思うか(地域別)



これまでの調査における問48の地域別の結果は、図50のとおりである。

2022年調査においては、城崎地域と他の地域との間で統計的に有意な差がある。城崎地域は他の地域に比べ、豊岡市を訪れる価値のあるまちとして市外の人に勧めたいと思っている人が多いと言える。

図50:問48の回答平均値(地域別)



# 2022 豊岡市まちづくりアンケート

## ～政策モニタリング調査～

日頃から市の取組みにご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。  
 豊岡市では、よりよいまちづくりに活用するため、毎年、アンケートを実施しています。  
 このアンケートは、18歳以上の豊岡市民の皆さまの中から4,000人を無作為に抽出して  
 送付しており、すべて匿名で処理され、個人に関わる情報が公開されることはありません。  
 また、集計結果は政策の改善の目的のみに使用し、その他の目的に使用することはありま  
 せん。

アンケート回答の所要時間は約20分です。お忙しいところ恐縮ですが、回答にご協力いた  
 ださますようお願い申し上げます。

2022年1月14日  
 豊岡市

【返送締切：2022年2月4日(金)】

Web回答もできます。  
 スマートフォン等で右の二次元コードを読み取るか、  
 下記のURLからWeb回答サイトを表示して回答をお願いします。  
<https://questant.jp/q/A0B3HZ7P>



※ Web回答された場合は、この調査票の返送は不要です。

《お問い合わせ》  
 豊岡市政策調整課 行財政改革推進係 (担当：坪内)  
 電話：0796-21-9022  
 F A X：0796-24-5932  
 Eメール：seisakuchousei@city.toyooka.lg.jp



◆**豊岡市の重要政策について評価しています。**  
 豊岡市では、市の重要政策について評価を行い、立案した政策の改善に結び付けたいと考  
 えています。

その政策の改善の手がかりの一つにするために、このアンケートを定期的に実施していま  
 す。これからも毎年このアンケートを実施し、政策が順調に進んでいるかどうか、どうすればも  
 っとうまくいくかについて等の情報を得た上で、政策の改善を検討していきたいと考えてい  
 ます。

◆**市民の皆様と「協働」して政策を改善します。**  
 市民の皆さまと一緒に政策を改善するために、市民ワークショップ等を開催し、政策につい  
 て話し合っています。

「協働」とは、共通の目的に向かって一緒に行動することです。  
 市民ワークショップでは、(共通の目的に賛同す  
 る)市民の皆さまと市が一緒に政策を考え  
 り、見直したりする話し合いを行っています。そ  
 の話し合いで得られた市民の皆さまの経験や  
 知識を政策に反映し、共通の目的の実現に向け  
 て一緒に行動していきたいと考えています。



市民ワークショップの様子

※ 昨年は、コロナウイルス感染症の拡大が懸念されたため、市民ワークショップは開催でき  
 ませんでした。

=====<あなた自身について>=====  
 \*該当する番号、記号に○をつけてください。  
 \*回答者の限定がない場合は、全員ご回答ください。

【問1】 あなたの性別は？

- (1)男性 (2)女性 (3)その他

【問2】 あなたの年齢は？

- (1)10代 (2)20代 (3)30代 (4)40代 (5)50代 (6)60代 (7)70代 (8)80代以上

【問3】 あなたの職業(最も多く収入を得ているもの)は？

- (1)会社員、会社役員 (2)自営業(農業含む) (3)公務員 (4)パート、アルバイト  
 (5)専業主婦 (6)学生 (7)NGO、NPO (8)無職(年金暮らし含む)  
 (9)その他( )

【問4】 あなたはこの地区にお住まいですか？

- (1)豊岡地区 (2)八条地区 (3)三江地区 (4)田鶴野地区 (5)五荘地区 (6)新田地区  
 (7)中筋地区 (8)奈佐地区 (9)港地区(港東小学校区) (10)港地区(港西小学校区)  
 (11)神美地区 (12)城崎地区 (13)竹野南地区 (14)中竹野地区 (15)竹野地区 (16)国府地区  
 (17)八代地区 (18)日高地区(日高小学校区) (19)日高地区(静修小学校区) (20)三方地区  
 (21)清滝地区 (22)西気地区 (23)弘道地区 (24)菅谷地区 (25)福住地区 (26)寺坂地区  
 (27)小坂地区 (28)小野地区 (29)資母地区 (30)合橋地区 (31)高橋地区

【問5】 あなたの同居家族の構成は？

- (1)ひとり暮らし (2)夫婦のみ (3)夫婦と未成年の子ども  
 (4)ひとり親と未成年の子ども (5)二世代家族(親と子。(3)(4)を除く)  
 (6)三世代家族(親と子と孫) (7)その他( )

【問6】 あなたのお住まいの居住形態は、どれにあたりますか？

- (1)持ち家(一戸建て) (2)持ち家(マンション等集合住宅)  
 (3)賃貸(一戸建て) (4)賃貸(マンション等集合住宅)  
 (5)社宅・寮・シェアハウス等 (6)その他( )

【問7】 あなたの同居家族に高校生以下の子どもがいる場合は、その人数を教えてください。

小学生以下の子ども：\_\_\_人 中学生の子ども：\_\_\_人 高校生の子ども：\_\_\_人

=====<自然と環境について>=====  
 \*該当する番号、記号に○をつけてください。  
 \*回答者の限定がない場合は、全員ご回答ください。

【問8】 あなたは、豊岡の自然の中で暮らすことに価値があると感じていますか？

- (1)ほとんど感じていない (2)あまり感じていない (3)どちらとも言えない  
 (4)ある程度感じている (5)とても感じている

【問9】 あなたは、生物多様性保全のためにどのような取り組みが重要だと思いますか？重要と思われるものをすべてに○をつけてください。

- A 稲作(コウノトリ育む農法など) B 耕作放棄地のビオトープ化  
 C 間伐 D 自然に配慮した工法による河川整備  
 E 環境教育の実施 F 農地や農業施設の適正な管理  
 G 湿地、里山などの保全活動 H 自然体験活動の実施による自然への理解  
 I 里山の整備 J コウノトリをシンボルとした様々な取り組み  
 K その他( )

【問10】 あなたは、地球温暖化対策として、普段どのようなことを実践していますか？当てはまるものをすべてに○をつけてください。

- A 省エネ行動(節電など) B ゴミの減量化(分別の徹底など)  
 C 公共交通の利用 D 自然エネルギーの活用(太陽光パネルの設置など)  
 E クールスポットの活用 F エコ家電の購入  
 G 環境に配慮した製品の購入(オーガニック、有機JASなど)  
 H クールビズ、ウォームビズの実践 I リサイクルショップなどの活用  
 J 地球温暖化についての議論や対話 K その他( )

【問11】 あなたは、森林資源(木質バイオマス)や自然エネルギー(太陽光、風力、水力)などの「持続可能な地域資源」が有効に利用されていると思いますか？

- (1)まったくそう思わない (2)あまりそう思わない (3)どちらとも言えない  
 (4)ある程度そう思う (5)とてもそう思う

=====<子育てと教育について>=====  
 \*該当する番号、記号に○をつけてください。  
 \*回答者の限定がない場合は、全員ご回答ください。

【問12】 あなたは、豊岡市で子育てをする人は安心して子育てができていると思いますか？

- (1)まったくそう思わない (2)あまりそう思わない (3)どちらとも言えない  
 (4)ある程度そう思う (5)とてもそう思う

【問13】 子育てに関する悩みや不安を相談できる窓口として、あなたが知っているものはどれですか？**当てはまるものすべてに○をつけてください。**

- A ことば支援センター B 子育てセンター C 教育相談室 D 青少年センター  
 E 社会福祉課(障害・療育) F 健康増進課(健康や成長、こころのケア)  
 G その他( )

【問14】 豊岡市の現状は、子育てと仕事の両立がしやすくなっていると思いますか？

- (1)まったくそう思わない (2)あまりそう思わない (3)どちらとも言えない  
 (4)ある程度そう思う (5)とてもそう思う

【問15】 子ども達が集まって交流できる場所のうち、あなたが知っているものはどれですか？**当てはまるものすべてに○をつけてください。**

- A 子育てセンター B コミュニティセンター C 放課後子ども教室  
 D 保育所等の公開保育 E 保育所等の園庭開放 F どれも知らない  
 G その他( )

【問16】 あなたのまわりの子どもたち(小学生・中学生)は、まわりの大人たちとのあいさつや会話が  
 できますか？

- (1)ほとんどできていない (2)あまりできていない (3)どちらとも言えない  
 (4)かなりできている (5)とてもよくできている

【問17】 あなたの地域では、お祭りなどの伝統行事に子どもたち(小学生・中学生)はどのくらい参加  
 していますか？

- (1)ほとんど参加していない (2)あまり参加していない (3)どちらとも言えない  
 (4)かなり参加している (5)とてもよく参加している

=====<環境と経済について>=====  
 \*該当する番号、記号に○をつけてください。  
 \*回答者の限定がない場合は、全員ご回答ください。

【問18】 あなたのまわりの子どもたちは、豊岡に愛着を感じていると思いますか？

- (1)まったくそう思わない (2)あまりそう思わない (3)どちらとも言えない  
 (4)ある程度そう思う (5)とてもそう思う

=====<環境と経済について>=====  
 【問19】 日常生活で環境に配慮した商品を意識して購入していますか？

- (1)まったくしていない (2)していない (3)分らない (4)している (5)とてもしている

【問20】 豊岡市の市民や事業者の皆さまによる環境を良くする取組みが、豊岡市の経済にもプラス  
 になると思いますか？

- (1)まったくそう思わない (2)あまりそう思わない (3)どちらとも言えない  
 (4)ある程度そう思う (5)とてもそう思う

=====<健康と運動について>=====  
 【問21】 あなたは現在、自分が健康だと思いますか？

- (1)まったく思わない (2)思わない (3)思う (4)とてもそう思う

【問22】 あなたは健康維持・増進のために運動(1日30分以上)をしていますか？

- (1)ほぼ毎日している (2)週に3日以上している (3)週に2日している  
 (4)週に1日以下 (5)していない

【問23】 【問22】の回答で(1)~(4)を選択した方にお尋ねします。その運動はどのくらい継続され  
 ていますか？

- (1)一年以上 (2)6か月~1年未満 (3)3か月~6か月未満 (4)3か月未満

\*該当する番号、記号に○をつけてください。  
\*回答者の限定がない場合は、全員ご回答ください。

【問24】あなたは1年前と比べて、「歩くこと」など体を動かす健康づくりをする回数に変化はありますか？

- (1)かなり減った (2)減った (3)変わらない (4)増えた (5)かなり増えた

【問25】あなたは体を動かす健康づくりとして、どのようなことを実践していますか？**当てはまるものすべてに○をつけてください。**

- A 日常生活の中で歩くようにしている(近いところなら歩くなど)
- B 歩数計、携帯電話、スマートフォンなどを活用し、自分の歩数を把握する
- C ウォーキングやジョギングをする
- D 健康ポイント制度に参加する
- E 自宅テレビやDVDに合わせて体操する
- F 玄米元気教室に参加する
- G 自宅で筋力トレーニング(スクワットなど)をする
- H 地域(老人クラブなど)のグラウンドゴルフなどに参加する
- I スポーツ21やサークル(卓球、太極拳など)に参加する
- J 職場でラジオ体操やストレッチをする
- K 講師がいる運動教室に参加する
- L 運動施設(プール・ジムなど)に通う
- M 農作業で体を動かしている
- N その他( )
- O 特に何もしていない

【問26】あなたは外出の際、移動手段について不便に感じることはありませんか？

- (1)ほとんど感じたことはない (2)あまり感じたことはない (3)感じることもある  
(4)しばしば感じている (5)いつも感じている

\*該当する番号、記号に○をつけてください。  
\*回答者の限定がない場合は、全員ご回答ください。

【問27】あなたは、日常生活で移動するとき、主にどの手段で移動しますか？利用される頻度の高いものから**3つ**選んで記号を書いてください。

回答記入欄			
最も頻度が高い：[ ]	2番目に頻度が高い：[ ]	3番目に頻度が高い：[ ]	
選 択 肢			
(1)徒歩	(2)自転車	(3)バイク	(4)家族や知人の送迎
(5)福祉タクシー	(6)タクシー	(7)鉄道	(8)バス
(9)マイカー	(10)その他( )		

【問28】あなたは大阪方面へ移動する際、主にどの交通手段を用いて移動しますか？**当てはまるもの1つに○をつけてください。**

- (1)大阪方面へは行かない (2)家族や知人の送迎 (3)特急バス  
(4)飛行機 (5)鉄道 (6)マイカー (7)その他( )

【問29】あなたは東京方面へ移動する際、主にどの交通手段を用いて移動しますか？**当てはまるもの1つに○をつけてください。**

- (1)東京方面へは行かない (2)家族や知人の送迎 (3)特急バス  
(4)飛行機 (5)鉄道 (6)マイカー (7)その他( )

===== <食と農業について> =====

【問30】あなたは家庭で作る食事に、オーガニック、無農薬、減農薬の食材・食品を使っていますか？

- (1)ほとんど使うことはない (2)あまり使うことはない (3)使うことがある  
(4)ときどき使っている (5)いつも使っている

\*該当する番号、記号に○をつけてください。  
\*回答者の限定がない場合は、全員ご回答ください。

【問31】 【問30】③、④、⑤のいずれかに○をつけた方にお尋ねします。使っているオーガニック、無農薬、減農薬の食材はどのようなものですか？当てはまるものすべてに○をつけてください。

- A 米                    B 大豆                    C 麦                    D 野菜  
E 果物                    F ジュース、菓子類                    G お茶、コーヒー                    H 豆腐  
I レトルト食品、保存食品                    J その他 (                    )

===== <地域の歴史、伝統、文化芸術> =====

【問32】 あなたは、地域の歴史、伝統、文化を「わが町の誇りだ」と感じますか？

- (1)ほとんど感じていない                    (2)あまり感じていない                    (3)どちらとも言えない  
(4)ある程度感じている                    (5)とても感じている

【問33】 あなたは、次の中で豊岡市の誇りだと感じているものがありますか？当てはまるものすべてに○をつけてください。

- A 自然（日本海、神鍋高原、コウノトリなど）                    B 史跡（出石城跡、但馬国分寺跡など）  
C 建物（温泉寺、出石神社など）                    D 町並み（城崎温泉、出石城下町など）  
E 美術工芸品（仏像、絵画、工芸品など）                    F 伝統芸能（だんじり、盆踊り等）  
G その他(                    )

【問34】 あなたは、市外の人やSNSメディア、SNSなどの評価によって、豊岡の歴史、伝統、文化の素晴らしさに気付かされたことはありますか？

- (1)ほとんどない                    (2)あまりない                    (3)たまにある                    (4)しばしばある                    (5)とてもよくある

【問35】 あなたは、豊岡市を文化芸術の盛んなまちだと思いますか？

- (1)まったくそう思わない                    (2)あまりそう思わない                    (3)どちらとも言えない  
(4)ある程度そう思う                    (5)とてもそう思う

\*該当する番号、記号に○をつけてください。  
\*回答者の限定がない場合は、全員ご回答ください。

【問36】 あなたは、一流のアーティストが創作する舞台芸術や芸術作品など、質の高い文化芸術に気軽に触れられる機会が多いまちだと思いますか？

- (1)まったくそう思わない                    (2)あまりそう思わない                    (3)どちらとも言えない  
(4)ある程度そう思う                    (5)とてもそう思う

【問37】 あなたは、豊岡市で活動するアーティストやクリエイターを応援したいと思いますか？

- (1)まったくそう思わない                    (2)あまりそう思わない                    (3)どちらとも言えない  
(4)ある程度そう思う                    (5)とてもそう思う

===== <防災について> =====

【問38】 あなたは、市民総参加訓練に参加していますか？

- (1)一度も参加したことがない                    (2)たまに参加することがある                    (3)時々参加している  
(4)毎回参加している

【問39】 【問38】で(1)に回答した方にお尋ねします。参加したことがないのはなぜですか？当てはまるものすべてに○をつけてください。

- A 自分の地域では市民総参加訓練が実施されていない  
B 市民総参加訓練が実施されているかどうか知らない  
C 仕事や家事、育児、介護、学業などで時間がとれない  
D 訓練が後に立つとは思えない  
E 関心がない  
F あまり人と付き合いたくない  
G 転入したばかりでまだ機会がない  
H その他(                    )

【問40】 あなたは、災害が発生したとき、自分自身の身を守る行動がとれると思いますか？

- (1)まったくとれると思わない                    (2)あまりとれると思わない                    (3)ある程度とれると思う  
(4)かなりとれると思う                    (5)とてもしっかりとれると思う



\*該当する番号、記号に○をつけてください。  
\*回答者の限定がない場合は、全員ご回答ください。

【問41】 あなたは次の防災活動に参加したことがありますか？当てはまるものすべてに○をつけてください。

- A 区で行われる訓練(市民総参加訓練以外)
- B 市政出前講座
- C 区、コミュニティで行われる防災ワークショップ
- D 防災学習会
- E 北但大震災メモリアル写真展
- F 台風23号メモリアル写真展

【問42】 あなたは、以前に比べてあなたの地域での防災活動は活発に行われていると思いますか？

- (1)ほとんど感じない (2)あまり感じない (3)どちらとも言えない
- (4)ある程度感じる (5)とても感じる

【問43】 あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？当てはまるものすべてに○をつけてください。

- A 非常持出品を準備している
- B 家具の転倒防止を施している
- C 住宅の耐震診断や耐震改修を行っている
- D 市が配布している防災マップを保管している
- E 防災マップを活用し、最寄りの避難場所を確認している
- F 防災マップを活用し、避難ルートを確認している
- G 有事の際、助けが必要な(または自分を助けてくれる)近所の人々の存在を認識している
- H 有事の際の避難行動について、家族と話し合っている(避難場所や連絡の方法など)
- I 防災行政無線戸別受信機の電池交換をしている
- J とよおか防災ネットに登録している
- K その他( )

\*該当する番号、記号に○をつけてください。  
\*回答者の限定がない場合は、全員ご回答ください。

【問44】 「特別警報」は数十年前に一度の、これまでに経験したことのないような、重大な危険が差し迫った異常な状況となったとき、気象庁より発表されます。「特別警報」が発表された時には、通常救助に駆けつける消防職員や消防団員など防災関係者自身も、まずは自分の命を守る行動をとらなければなりません。あなたは、この「特別警報」のことを知っていましたか？

- (1)まったく知らなかった
- (2)聞いたことはあったが、どのようなものかは知らなかった
- (3)ある程度、どのようなものかも知っていた
- (4)「特別警報」がどのようなものか、よく知っていた

===== <まちづくりと観光について> =====

【問45】 あなたは、豊岡市で暮らすことに価値や魅力があると感じていますか？

- (1)ほとんど感じていない (2)あまり感じていない (3)どちらとも言えない
- (4)ある程度感じている (5)とても感じている

【問46】 あなたは、進学や就職で豊岡市を出ていく子どもたちに対し、将来帰ってきて欲しいと思いますか？

- (1)まったくそう思わない (2)あまりそう思わない (3)どちらとも言えない
- (4)ある程度そう思う (5)とてもそう思う

【問47】 あなたの地域(合併前の旧市町)にもっと観光客が来てほしいと思いますか？

- (1)まったくそう思わない (2)あまりそう思わない (3)どちらとも言えない
- (4)ある程度そう思う (5)とてもそう思う

【問48】 市外の人に、豊岡市を訪れる価値のあるまちとして勧めたいと思いますか？

- (1)まったくそう思わない (2)あまりそう思わない (3)どちらとも言えない
- (4)ある程度そう思う (5)とてもそう思う

アンケートは以上です。  
ご協力、ありがとうございました。

